

# 津市立片田小学校給食受入施設改修工事

## 図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
【建築工事】			【電気設備工事】			【機械設備工事】		
A-01	特記仕様書 1	—	E-01	電気設備工事特記仕様書 1	—	M-01	機械設備工事特記仕様書 1	—
A-02	特記仕様書 2	—	E-02	電気設備工事特記仕様書 2	—	M-02	機械設備工事特記仕様書 2	—
A-03	特記仕様書 3	—	E-03	電気設備工事特記仕様書 3	—	M-03	空調換気設備 1階平面図 (改修後)	S=1/100
A-04	特記仕様書 4	—	E-04	1階動力・弱電設備平面図 (改修前・改修後)	S=1/100	M-04	給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修前)	S=1/50
A-05	特記仕様書 5	—	E-05	1階・2階電灯コンセント設備平面図 (改修前・改修後)	S=1/100	M-05	給排水衛生設備 1階平面詳細図 (改修後)	S=1/50
A-06	付近見取図・配置図兼仮設計画図	S=1/600				M-06	給排水衛生設備 2、3階平面詳細図 (改修後)	S=1/50
A-07	仕上表	—						
A-08	各階全体平面図 (改修前) 兼仮設計画図	S=1/200						
A-09	1階平面詳細図 (改修前)	S=1/50						
A-10	1階平面詳細図 (改修後)	S=1/50						
A-11	展開図 (改修後)	S=1/50						
A-12	2、3階配膳室平面詳細図 (改修前・後)	S=1/50						
A-13	1、2階天井伏図 (改修前・後)	S=1/100						
A-14	キプラン・建具表 (改修前・後)	S=1/50						
A-15	雑詳細図	S=5・7・10 20・30						

原図：A 2



<b>③ 防水改修工事</b> 1 アスファルト防水 (3.1.4) (3.3.3) (表3.3.3)～(表3.3.10) 2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.5.2) (3.5.3) (表3.5.1)～(表3.5.3) (3.5.3) (3.5.4) 4 塗膜防水 (3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3) (a) (3.6.3) (b) 5 既存防水層表面の仕上塗装の除去 (3.2.6) (c) (2) (3.2.6) (c) (6) 6 シーリング (3.7.2) (表3.7.1) (3.7.4～7) (3.7.8) (3.7.8) (3.8.2) (表3.8.1) 7 とい (3.8.2) (表3.8.1) 8 アルミニウム製笠木 (3.9.2) (c) (表3.9.1) (3.9.3) (b) (3.9.2) (d) (3.9.3)	<table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIB</td> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PIE</td> <td>・ E-1 ・ E-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート          種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )          厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート          種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )          厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)～(表3.3.9)による ・ ( )</p> <p>改質アスファルトシート          種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )          厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート          種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )          厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)～(表3.4.3)による ・ ( )</p> <p>ルーフィングシート          種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ( )          厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)及び(表3.5.2)による ・ ( )</p> <p>絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート          固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示( )          断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1)          材質、厚さ ( )          ・ 図示 ( )</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ S3S</td> <td>・ S-F1 (S1-F1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3S1</td> <td>・ S-F2 (S1-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置          ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号: )、材質( ))          ・ 設けない</p> <p>既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合          目地処理 ・ 図示(図面番号: )          増張り ・ 図示(図面番号: )          保護層の施工 ・ 図示(図面番号: )</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> </tr> <tr> <td>・ POX</td> <td>・ X-1 ・ X-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ L4X</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>脱気装置          ・ 設ける(設置数量 ・ 図示(図面番号: )、材質( ))          ・ 設けない</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ PIY</td> <td>・ Y-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>保護層 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>(M4AS, M4AS1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない          (L4X) ・ 行う ・ 行わない</p> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○ SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td>建具がら部</td> </tr> <tr> <td>・ SR-2</td> <td>シリコーン系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>新規間仕切壁取合い部・7&amp;底</td> </tr> <tr> <td>・ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td></td> </tr> </table> <p>工法          ○ シーリング充填工法          ・ シーリング再充填工法          ・ 拡幅シーリング再充填工法          ・ ブリッジ工法          (ボンドブレード幅 mm、エッジング材幅 mm)</p> <p>シーリング材の試験          ・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ○ 行わない</p> <p>材質 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ 配管用鋼管(白管)          ・ ( )          工法 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>部材の種類          ・ 押出し250形          ・ 押出し300形          ・ 押出し350形          ・ 板材折曲げ形(本体幅( )mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ( ))</p> <p>固定金具の間隔( mm)          固定方法 ・ ( )</p> <p>表面処理 ・ ( )</p> <p>工法 既存笠木等の撤去 ・ 図示(図面番号: )          下地補修の工法 ・ 図示(図面番号: )          板材折曲げ形の笠木の取付方法 ・ 図示(図面番号: )          笠木固定金具の工法 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。</p>	工法	種別	施工箇所	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3		・ PIE	・ E-1 ・ E-2		・ P2E			工法	種別	種別	仕上塗料	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)			・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)			工法	種別	施工箇所	仕上塗料	・ POX	・ X-1 ・ X-2			・ L4X				工法	種別	施工箇所	・ PIY	・ Y-2		・ P2Y			種類	材種	施工箇所	○ SR-1	シリコーン系	建具がら部	・ SR-2	シリコーン系		○ MS-2	変成シリコーン系	新規間仕切壁取合い部・7&底	・ PS-2	ポリサルファイド系		・ PU-2	ポリウレタン系		<b>4 外壁改修工事</b> 1 施工数量調査 ・ 行う ・ 行わない 調査範囲 ・ 全面 ・ ( ) 調査項目 ・ ひび割れ部( ・ 幅0.2mm ・ 0.2mm～1.0mm ・ 1.0mm以上) ・ はがれ及びはく落部分 ・ 浮き部 調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等( ・ 足場 ・ ゴンドラ) 報告書 2部(立面図等に記載、必要に応じて写真添付)	2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5) <table border="1"> <tr> <th>外壁</th> <th>種類</th> <th>改修工法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ コンクリート打放し仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ モルタル塗り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タイル張り仕上げ外壁</td> <td>ひび割れ部</td> <td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 塗り仕上げ外壁</td> <td>浮き部</td> <td>・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td>・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> <tr> <td>・ 新規仕上げ</td> <td>・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り</td> <td></td> </tr> </table>	外壁	種類	改修工法	・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法	・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法	・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	・ 塗り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	・ 新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り		9 鋼製建具 (5.4.2) 鋼製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 ) ・ めっき付着量 JIS G 3302 ・ Z12 ・ F12 ・ ( ) JIS G 3317 ・ Y08 ・ ( ) (5.4.3) (5.4.4) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号: )	⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2) (b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3) (a) (5.2.3) (a) 鋼製軽量建具の性能等級 ○ 簡易気密性ドアセット ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 ) ・ H2400又はW950の建具 鋼板類の厚さ ・ 図示(図面番号: )	11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2) ステンレス製建具の性能等級 ・ 簡易気密性ドアセット ・ 外部に面する建具の耐風圧 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 ) (5.6.3) 材料 ・ SUS304 ・ ( ) (5.6.4) 表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ( ) (5.6.5) 曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ	⑪ 建具用金物 (5.7.2) 金物の見え掛かり部等の材質等 ○ 改修標準仕様書(表5.7.1)による ○ 図示(図面番号:A-14) (5.7.4) マスターキー ・ 製作する ○ 製作しない ※但し既存マスターキーに適合すること 引渡用鍵箱 ・ 必要 ○ 不要	13 自動ドア開閉装置 (5.8.2) 開閉装置の性能値 ・ 図示(図面番号: ) (5.8.3) センサーの種類 ・ 図示(図面番号: ) (表5.8.3) (5.8.3) (f) 凍結防止措置 ・ あり ・ なし	⑫ 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3) 自閉式上吊り引戸装置の性能値 ○ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ( )	15 重量シャッター (5.10.2) 種類 ・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 耐風圧強度( Pa以上) (5.10.2) (c) 開閉機能 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 (表5.10.1) (5.10.2) (f) 一般重量シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない ・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ( )	16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1) 開閉形式 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 手動式 耐風圧強度( Pa以上) (5.11.4) スラットの材質及び形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 ・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ( ) JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ( )	17 オーバーヘッドドア (5.12.2) 型式及び機構 セクション材料 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧強度( Pa以上) 開閉方式 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 (5.12.3) ガイドレール ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板	原因: A 2
	工法	種別	施工箇所																																																																																																			
	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3																																																																																																				
	・ PIE	・ E-1 ・ E-2																																																																																																				
	・ P2E																																																																																																					
	工法	種別	種別	仕上塗料																																																																																																		
	・ S3S	・ S-F1 (S1-F1)																																																																																																				
	・ S3S1	・ S-F2 (S1-F2)																																																																																																				
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料																																																																																																		
	・ POX	・ X-1 ・ X-2																																																																																																				
・ L4X																																																																																																						
工法	種別	施工箇所																																																																																																				
・ PIY	・ Y-2																																																																																																					
・ P2Y																																																																																																						
種類	材種	施工箇所																																																																																																				
○ SR-1	シリコーン系	建具がら部																																																																																																				
・ SR-2	シリコーン系																																																																																																					
○ MS-2	変成シリコーン系	新規間仕切壁取合い部・7&底																																																																																																				
・ PS-2	ポリサルファイド系																																																																																																					
・ PU-2	ポリウレタン系																																																																																																					
外壁	種類	改修工法																																																																																																				
・ コンクリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																																																																				
	欠損部	・ 充填工法																																																																																																				
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法																																																																																																				
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法																																																																																																				
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法																																																																																																				
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																																																																																																				
・ 塗り仕上げ外壁	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																																																																																																				
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																																																																																																				
・ 新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																																																																																																					
<b>⑤ 建具改修工事</b> ① 改修工法 (5.1.3) ○ かぶせ工法 ○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法 ・ 撤去工法 ・ はつり工法 ・ 引抜き工法 2 防火戸 (5.1.4) ・ 例示仕様 ・ 個別認定(認定番号: ) ・ 自動閉鎖機構 ・ 図示(図面番号: ) 3 見本の製作 (5.1.5) ・ 製作する ・ 製作しない 4 防犯建物部品 (5.1.7) ・ 図示(図面番号: ) 5 ブラインドボックス等 (5.1.6) (c) ・ 再使用する ・ 再使用しない ⑥ アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.4) (表5.2.1) 性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 (表5.2.2) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類 ・ 外部に面する建具 ・ B-1 ○ B-2 ・ ( ) ・ 内部に面する建具 ・ C-1 ・ C-2 ・ ( ) 7 網戸 (5.2.3) (e) ・ 可動式 ・ 固定式 防虫網の材質 ・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 網目 ・ 16メッシュ ・ 18メッシュ 8 樹脂製建具 (5.3.2)～(5.3.5) (表5.3.1)～(表5.3.3) 性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 防音ドアセット、防音サッシ(等級 ) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ(等級 ) ・ 耐震ドアセット(等級 ) ・ 結露水の処理方法 ・ 図示(図面番号: ) ガラス ・ 複層ガラス ・ ( ) 建具枠見込寸法 ・ 図示(図面番号: ) 水切り ・ 図示(図面番号: )	訂正 特記 工事名称 <b>津市立片田小学校給食受入施設改修工事</b> 図面内容 <b>特記仕様書 2</b> 縮尺 ー 年月日 図面番号 A-02 枚/内 区分																																																																																																					

⑤ 建具改修工事	⑧ 板ガラス (5.13.2)(a) (5.13.4)	○ 図示 : A-14)	(6.5.2)(e)	・ 床張り用合板等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理等</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																						8 カーベット敷き (6.9.3)(a) (表6.9.1)	・ 織じゅうたん <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>バイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ ループバイル</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> 品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)	種別	バイルの形状	帯電性	品質の程度	・ A種	・ カットバイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ( )	・ B種	・ ループバイル	・ ( )	・ ( )	・ C種	・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )
	部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ																																											
種別	バイルの形状	帯電性	品質の程度																																															
・ A種	・ カットバイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ( )																																															
・ B種	・ ループバイル	・ ( )	・ ( )																																															
・ C種	・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )																																															
⑨ ガラス留め材 (5.13.2)(b)	○ シーリング ・ ガスケット ( )	(6.5.5)(a)	・ 防腐、防蟻処理 適用部位 図示 (図面番号: ) 保存処理性能区分 ( ) 薬剤の塗布等の処理方法 ( ) ポード原料接着剤への防腐・防蟻処理 ( )	(6.9.3)(b) (表6.9.2)	・ タフテッドカーベット <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>バイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td> </td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ ループバイル</td> <td> </td> <td>・ ( )</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td> </td> <td>・ ( )</td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	バイルの形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットバイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )	・ ループバイル		・ ( )	・ グリッパー工法	・ ( )	・ カット、ループ併用		・ ( )																											
バイルの形状	バイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																														
・ カットバイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )																																														
・ ループバイル		・ ( )	・ グリッパー工法	・ ( )																																														
・ カット、ループ併用		・ ( )																																																

⑥ 内装改修工事	2.1 ガラスブロック積み (5.13.5)	ガラスブロック 表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号: ) 金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号: )  化粧カバー ・ 図示 (図面番号: ) 工法 ・ 図示 (図面番号: ) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。	(6.5.6)(a)(1) (6.5.6)(b)表6.5.8	鉄筋コンクリート造等の内部間仕切軸組及び床組 木材 (2) 工法 表6.5.8 (その1) 転ばし大引	(6.9.3)(c)	・ ニードルパンチカーベット <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・ ( )</td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下			・ ( )														
	厚さ(mm)	帯電性	備考																									
	・ 人体帯電圧 3KV以下																											
	・ ( )																											
① 一般事項 (6.1.3)(b)	既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲 <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修部分</th> <th>改修範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 天井</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> </tr> <tr> <td>・ 壁</td> <td>・ 図示 (図面番号: A-11)</td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td>・ 図示 (図面番号: A-10)</td> </tr> </tbody> </table>	改修部分	改修範囲	・ 天井	・ 図示 (図面番号: )	・ 壁	・ 図示 (図面番号: A-11)	・ 床	・ 図示 (図面番号: A-10)	(6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	野縁等の種類 ○ 屋内 ・ 19形 ・ ( ) ・ 屋外 ・ 25形 ・ ( )	(6.9.3)(d) (表6.9.2)	・ タイルカーベット <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>バイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 6.5</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td> </td> <td>・ ループバイル</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	種類	バイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットバイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ( )		・ ループバイル	・ ( )	・ ( )	・ ( )
改修部分	改修範囲																											
・ 天井	・ 図示 (図面番号: )																											
・ 壁	・ 図示 (図面番号: A-11)																											
・ 床	・ 図示 (図面番号: A-10)																											
種類	バイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																								
	・ カットバイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ( )																								
	・ ループバイル	・ ( )	・ ( )	・ ( )																								

② 既存床撤去、下地補修 (6.2.2)(a)(1) (6.2.2)(a)(2) (6.2.2)(a)(5) (6.2.2)(c)	既存床仕上げ材の除去等 浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去 ○ 行う ・ 行わない 合成樹脂塗布材の除去等 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 床組の撤去 ・ (i) ・ (ii) 改修後の床の清掃範囲 ○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲	(6.6.4)	既存埋込みインサート ○ 使用する ・ 使用しない 既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験 ・ 行う (図示 (図面番号: )) ○ 行わない 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: )	(6.9.3)(e) (6.9.3)(f)	下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ( ) 見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号: ))																
	③ 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)	既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法 ○ (モルタル塗り)	(6.6.4)	スタッド、ランナー等の種類 ○ 図示	(6.9.4)(e)	敷き方 <table border="1"> <thead> <tr> <th>平場</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>( )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <th>階段部分</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>( )</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	平場	市松敷き	模様流し	( )					階段部分	市松敷き	模様流し	( )			
平場	市松敷き	模様流し	( )																		
階段部分	市松敷き	模様流し	( )																		

④ 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(2) (表6.5.2)	表面仕上げ ・ A種 ○ B種 ・ C種  木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材名称</th> <th>種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地材</td> <td>○ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> </tbody> </table>	部材名称	種 別	下地材	○ A種 ・ B種	造作材	・ A種 ・ B種	(6.8.2)(a)	材料 ○ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FS</td> <td>マープル</td> <td>2.5mm</td> <td> </td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	マープル	2.5mm										(6.11.5) (表6.11.5)	9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(b)(1) (表6.10.4) (6.10.3)(b)(2) (6.10.3)(c) (表6.10.5)~ (表6.10.8)	弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程 ・ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ ・ つや消し仕上げ  エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類 ・ 薄膜流し展べ仕上げ (・ 平滑 ・ 防汚) ・ 厚膜流し展べ仕上げ (・ 平滑 ・ 防汚) ・ 樹脂モルタル仕上げ (・ 平滑 ・ 防汚) ・ 薄膜型塗床仕上げ (・ 平滑)																																									
	部材名称	種 別																																																																			
下地材	○ A種 ・ B種																																																																				
造作材	・ A種 ・ B種																																																																				
種類の記号	色柄	厚さ	備考																																																																		
FS	マープル	2.5mm																																																																			
(6.5.2)(b)(1)	製材 「製材の日本農林規格」による製材 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>樹種・寸法・形状</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下地用</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>造作用</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>針葉樹製材</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>広葉樹製材</td> <td>・ 図示</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	下地用	・ 図示	・ ( )	・ ( )	針葉樹製材				造作用	・ 図示	・ ( )	・ ( )	針葉樹製材				広葉樹製材	・ 図示	・ ( )	・ ( )	(6.8.2)(b)	・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類の記号	厚さ	備考										(6.11.5) (表6.11.5)	・ 接着工法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング (直張用)</td> <td>・ A種</td> <td>・ なら</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング (直張用)</td> <td>・ B種</td> <td>・ ( )</td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング (直張用)</td> <td>・ C種</td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>・ モザイクパーケット (直張用)</td> <td> </td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード (直張用)				・ フローリングブロック (直張用)				・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種	・ なら		・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ ( )		・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種			・ モザイクパーケット (直張用)		・ ( )	・ ( )
部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率																																																																		
下地用	・ 図示	・ ( )	・ ( )																																																																		
針葉樹製材																																																																					
造作用	・ 図示	・ ( )	・ ( )																																																																		
針葉樹製材																																																																					
広葉樹製材	・ 図示	・ ( )	・ ( )																																																																		
種類の記号	厚さ	備考																																																																			
材種	樹種	厚さ	大きさ																																																																		
・ フローリングボード (直張用)																																																																					
・ フローリングブロック (直張用)																																																																					
・ 複合1種フローリング (直張用)	・ A種	・ なら																																																																			
・ 複合2種フローリング (直張用)	・ B種	・ ( )																																																																			
・ 複合3種フローリング (直張用)	・ C種																																																																				
・ モザイクパーケット (直張用)		・ ( )	・ ( )																																																																		

⑤ 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(2) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、難燃処理及び含水率 ・ 図示 (図面番号: ) 造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ( ) 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	部 位	樹 種	県 産 材										(6.8.2)(c)(1)	・ 帯電防止床シート又は床タイル <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	性能	厚さ	備考													(6.11.6)(2)	① 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 畳表替え																						
	部 位	樹 種	県 産 材																																																					
種類	性能	厚さ	備考																																																					
(6.5.2)(b)(2) (6.5.2)(b)(3) (表6.5.3)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 15%以下 ・ ( ) 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>樹 種</th> <th>県 産 材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	部 位	樹 種	県 産 材										(6.8.2)(c)(2)	・ 視覚障害者用床タイル <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>300×300×7.0mm</td> <td> </td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	形状	備考	ビニル床タイル	300×300×7.0mm								(6.11.6)(2)	② せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○ せっこうボード</td> <td rowspan="2">壁</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2">○ トラバーチン模様</td> <td>○ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>・ 普通</td> <td>・ 9</td> </tr> <tr> <td>・ 立体模様</td> <td> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ けい酸カルシウム板</td> <td rowspan="2">○ タイプII 0.8FK</td> <td>○ 6 ○ 8</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧けい酸カルシウム板</td> <td>○ 6</td> </tr> </tbody> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	○ せっこうボード	壁	・ 9.5(準不燃)	○ 12.5(不燃)	○ 化粧せっこうボード	天井	・ 9.5(準不燃)	・ 12.5(不燃)	○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様	○ 9.5(準不燃)	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9	・ 立体模様		○ けい酸カルシウム板	○ タイプII 0.8FK	○ 6 ○ 8	○ 化粧けい酸カルシウム板	○ 6
部 位	樹 種	県 産 材																																																						
種類	形状	備考																																																						
ビニル床タイル	300×300×7.0mm																																																							
材種	種別	厚さ(mm)																																																						
○ せっこうボード	壁	・ 9.5(準不燃)																																																						
		○ 12.5(不燃)																																																						
○ 化粧せっこうボード	天井	・ 9.5(準不燃)																																																						
		・ 12.5(不燃)																																																						
○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様	○ 9.5(準不燃)																																																						
		・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)																																																					
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9																																																						
	・ 立体模様																																																							
○ けい酸カルシウム板	○ タイプII 0.8FK	○ 6 ○ 8																																																						
		○ 化粧けい酸カルシウム板	○ 6																																																					

⑥ 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(2) (表6.5.2)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 15%以下 ・ ( ) 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>厚 さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	厚 さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	(6.8.2)(c)(3)	・ 耐動荷重性床シート <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	性能	厚さ	備考													(6.13.2)(h)	① 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 畳表替え																										
	部 位	厚 さ	表面の品質	防虫処理																																																				
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																					
種類	性能	厚さ	備考																																																					
(6.5.2)(b)(2) (6.5.2)(b)(3) (表6.5.3)	「製材の日本農林規格」以外の製材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号: ) 含水率 ・ 15%以下 ・ ( ) 樹種 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>厚 さ</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造作用単板積層材</td> <td>・ 図示 (図面番号: )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	部 位	厚 さ	表面の品質	防虫処理	造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )	(6.8.2)(c)(4)	・ 防滑性床シート又は床タイル <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>性能</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>	種類	性能	厚さ	備考													(6.13.2)(h)	② せっこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○ せっこうボード</td> <td rowspan="2">壁</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>○ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2">○ トラバーチン模様</td> <td>○ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>・ 普通</td> <td>・ 9</td> </tr> <tr> <td>・ 立体模様</td> <td> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ けい酸カルシウム板</td> <td rowspan="2">○ タイプII 0.8FK</td> <td>○ 6 ○ 8</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧けい酸カルシウム板</td> <td>○ 6</td> </tr> </tbody> </table>	材種	種別	厚さ(mm)	○ せっこうボード	壁	・ 9.5(準不燃)	○ 12.5(不燃)	○ 化粧せっこうボード	天井	・ 9.5(準不燃)	・ 12.5(不燃)	○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様	○ 9.5(準不燃)	・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9	・ 立体模様		○ けい酸カルシウム板	○ タイプII 0.8FK	○ 6 ○ 8	○ 化粧けい酸カルシウム板	○ 6
部 位	厚 さ	表面の品質	防虫処理																																																					
造作用単板積層材	・ 図示 (図面番号: )	・ ( )	・ ( )																																																					
種類	性能	厚さ	備考																																																					
材種	種別	厚さ(mm)																																																						
○ せっこうボード	壁	・ 9.5(準不燃)																																																						
		○ 12.5(不燃)																																																						
○ 化粧せっこうボード	天井	・ 9.5(準不燃)																																																						
		・ 12.5(不燃)																																																						
○ 化粧せっこうボード	○ トラバーチン模様	○ 9.5(準不燃)																																																						
		・ 木目模様	・ 9.5(準不燃)																																																					
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9																																																						
	・ 立体模様																																																							
○ けい酸カルシウム板	○ タイプII 0.8FK	○ 6 ○ 8																																																						
		○ 化粧けい酸カルシウム板	○ 6																																																					

⑥ 内装改修工事

1.4 モルタル塗り (6.15.3) 既製目地材 ・ 使用する (形状: )  
床の目地 ・ 図示 (図面番号: )

1.5 タイル張り (6.16.2) (6.16.3) 伸縮調整目地  
位置 ・ 図示 (図面番号: )

タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分	役物	標準・特注色	耐凍害性有無
給食室	100角	接着張	内装壁		I類(磁器) II類(せっ器) III類(陶器)	○		

(6.16.3) (b) (1) 試験張り ・ 行う ・ 行わない  
見本焼き ・ 行う ・ 行わない

1.6 セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3) ・ せっこう系 ・ セメント系  
塗厚 ( ) mm

1.7 断熱材 (9.5.2) 断熱材打込み工法  
種類 ・ A種 ・ B種

種類	厚さ (mm)	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム		
・ 押出法ポリスチレンフォーム		
・ A種硬質ウレタンフォーム		
・ フェノールフォーム		

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法 (吹付硬質ウレタンフォーム)

種類	厚さ [mm]	施工箇所
・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドレン回りの床板下等、部分的に後張りとしなければならない箇所
・ A種 2	・ ( )	
・ A種 3		・ ( )

⑦ 塗装改修工事

1 材料 (7.1.3) (b) ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。  
・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )

② 下地調整 (7.2.1~7.2.7) (表7.2.1) ~ (表7.2.7) 既存塗膜の除去範囲 (塗り替えてR B種の場合)  
○ 図示

種類

下地	種別	ひび割れ部の補修
・ 木部	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
○ 鉄鋼面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	
・ 垂鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
○ モルタル、プラスター面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う
○ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ○ RB種 ・ RC種	

③ 錆止め塗料塗り (7.3.2) (7.3.3) (表7.3.3) ~ (表7.3.4) 錆止め塗料種別  
・ 垂鉛めっき鋼面  
・ A種 ・ B種 ・ C種

錆止め塗料塗り種別

鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ○ C種
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

④ 合成樹脂調合ベイント塗り (SOP) (7.4.2) (7.4.3~7.4.5) (表7.4.1) ~ (表7.4.3) 塗料種別 ○ 1種 ・ ( )

種類

下地	種別
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種
○ 鉄鋼面	○ A種 ・ B種 ・ C種
・ 垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤラッカー塗り (CL) (7.5.2) (表7.5.1) 種類  
木部 ・ A種 ・ B種

⑥ アクリル樹脂系非水分散形塗料 (NAD) (7.7.2) (表7.7.1) 種類  
・ A種 ○ B種

7 耐候性塗料塗り (DP) (7.8.2) ~ (7.8.4) (表7.8.1) ~ (表7.8.3) 上塗り等級  
・ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)

下地

下地	種別
鉄鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・ A-1種 ・ A-2種 ・ B-1種 ・ B-2種 ・ C-1種 ・ C-2種

8 つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP-6) (7.9.2) ~ (7.9.5) (表7.9.1) ~ (表7.9.4) 種別

下地	種別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・ A種 ・ B種 ・ C種 しみ止め ( )
木部 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
鉄鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種
垂鉛めっき鋼面 (屋内)	・ A種 ・ B種 ・ C種

9 合成樹脂エマルジョンベイント塗り (EP) (7.10.2) (表7.10.1) 種別  
・ A種 ・ B種 ・ C種  
しみ止め ・ ( )

1.0 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T) (7.11.2) (表7.11.1) 種別  
・ A種 ・ B種 ・ C種

1.1 ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1) 種別  
・ A種 ・ B種

1.2 ラッカーエナメル塗り (LE) (7.13.2) (表7.13.1) 種別  
・ A種 ・ B種

1.3 木造保護塗料塗り (WP) (7.15.2) (表7.15.1) 種別  
・ A種 ・ B種

⑧ の 1 耐震改修工事 共通事項

(一般事項)  
① 適用範囲

工事内容

- 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
- 鉄骨ブレースの設置工事
- 柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
- 柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
- 柱補強工事 (連続繊維補強工法)
- 耐震スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事

工事種別

- 鉄筋工事
- あと施工アンカー工事
- コンクリート工事
- 鉄骨工事
- グラウト工事
- 連続繊維補強工事
- スリット新設工事
- 免震改修・制震改修工事
- 基礎工事

⑧ の 2 耐震改修工事 撤去工事

① 既存部分の撤去等 (8.21.2) 撤去の範囲  
○ 図示  
・ 新設のコンクリート、モルタル、グラウト材、鉄骨、連続繊維に接する部分  
・ 既存コンクリート撤去範囲に面する部分  
・ ( )

既存設備機器、配管撤去、新設、移設等処置  
本工事の範囲  
○ 本工事の範囲として図示された設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分  
・ 設備機器及び配管、盤類の撤去及び処分は本工事の範囲としない。  
・ ( )

撤去範囲 ・ 図示

② 既存構造体の撤去 (8.21.2) (8.22.2) (8.23.2) (8.24.2) 既存構造体の撤去  
撤去範囲 ○ 図示  
はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置

既存鉄筋コンクリート内の鉄筋の切断

鉄筋の切断	範囲	適用
・ 既存鉄筋は切断せず残す	・ 図示 (図面番号: ) ・ 全ての撤去部分 ・ ( ) ・ 適用なし	
・ コンクリートの撤去範囲の周囲より一定長さを残し切断する	・ 図示 ・ 全ての撤去部分 ・ ( ) ・ 適用なし	
○ コンクリート撤去範囲の鉄筋は切断する	○ 切断せず残す範囲を除く撤去する既存鉄筋コンクリートの範囲 ・ ( )	

はつりだした鉄筋の処置  
・ 鉄筋に損傷を与えないよう適切な養生を施す。  
・ ( )

はつりだした鉄骨の処置  
・ コンクリート等を除去し鉄面を表す。  
・ ( )

既存構造体コンクリート面の表面目荒らし  
目荒らし程度  
・ 平均深さ5~10mmで最大深さ15mm程度の凹凸を100mm間隔程度で施す  
・ 図示 (図面番号: )

(既存部分の処理)  
3 既存構造体コンクリートの表面目荒らし (8.21.3) (8.22.3) (8.23.3)

⑧ の 3 耐震改修工事 鉄筋工事

① 鉄筋 (8.2.1) (表8.2.1) 材料 改修標準仕様書 (表8.2.1) による

種別	径 (mm)
○ SD295A	D10
・ SD345	
・ SD390	
・ ( )	

2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法及び鉄線の径

網目の形状、寸法	鉄線の径 (mm)

3 加工 (8.3.2) 90° 未満の折曲げの内法直径 ・ 図示 (図面番号: )

④ 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) 径 部位

	径	部位
重ね継手	○ D 16 以下	
ガス圧接	・ D 19 以上	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ  
・ 改修標準仕様書 (8.3.4) (c) (1) による  
・ 図示 (図面番号: )

継手位置  
・ 各部配筋参考図による  
・ 図示 (図面番号: )

先組み工法等  
・ 柱・梁主筋の継手を同一箇所に設ける

鉄筋の定着長さ  
○ 改修標準仕様書 (表8.3.4) による  
・ 図示 (図面番号: )

帯筋組立の形  
・ 図示 (図面番号: )

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) 軽量コンクリートで土に接する部分  
・ 無し  
・ 有り 適用箇所 ( )  
最小かぶり厚さ ( ) mm

耐久性上不利な部分 (塩害を受けるおそれのある部分等)  
・ 無し  
・ 有り 適用箇所 ( )  
最小かぶり厚さ ( ) mm

⑥ 各部配筋 ○ 図示 (A-10、15)

7 ガス圧接 (8.3.8) 圧接完了後の試験  
超音波探傷試験 ・ 行う ・ 行わない

(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事及び鉄骨ブレースの設置工事等)

8 割製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 割製補強筋の適用

種類	材料	材種	径	本数・ピッチ	適用箇所
・ スパイラル筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼	・ R235	・ 6φ ・ 9φ	スパイラルの径 (mm) ( ) スパイラルのピッチ (mm) ( )	・ 図示 (図面番号: )
・ はしご筋	・ 鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・ 295A	・ 10	壁内方向筋 ( ) 壁面外方向筋 ( )	

9 鉄筋の機械式継手及び溶接継手 (8.4.2) (8.4.3) 機械式継手  
種類 ( )  
工法 ( )  
修正方法 ( )  
品質の確認方法 ( )  
鉄筋相互のあき ( ) mm

溶接継手  
種類 ( )  
工法 ( )  
修正方法 ( )  
品質の確認方法 ( )  
鉄筋相互のあき ( ) mm

⑧ の 4 耐震改修工事 コンクリート工事

(コンクリート工事一般事項)  
① コンクリートの種類及び強度 (8.1.3) (8.1.4) コンクリートの種別  
○ I類 ・ II類

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	適用範囲	気乾単位容積質量	スラブ
○ 21	土間	2.3t/m <sup>3</sup> 程度	18
・ ( )			18

(8.9.1) (8.9.2) (表8.9.1) 軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F <sub>c</sub> [N/mm <sup>2</sup> ]	種別	適用範囲	気乾単位容積質量	所要気乾単位容積質量	スラブ
・ 36	・ 1類 ・ 2類				
・ ( )					

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類  
・ A種 ○ B種 ・ C種

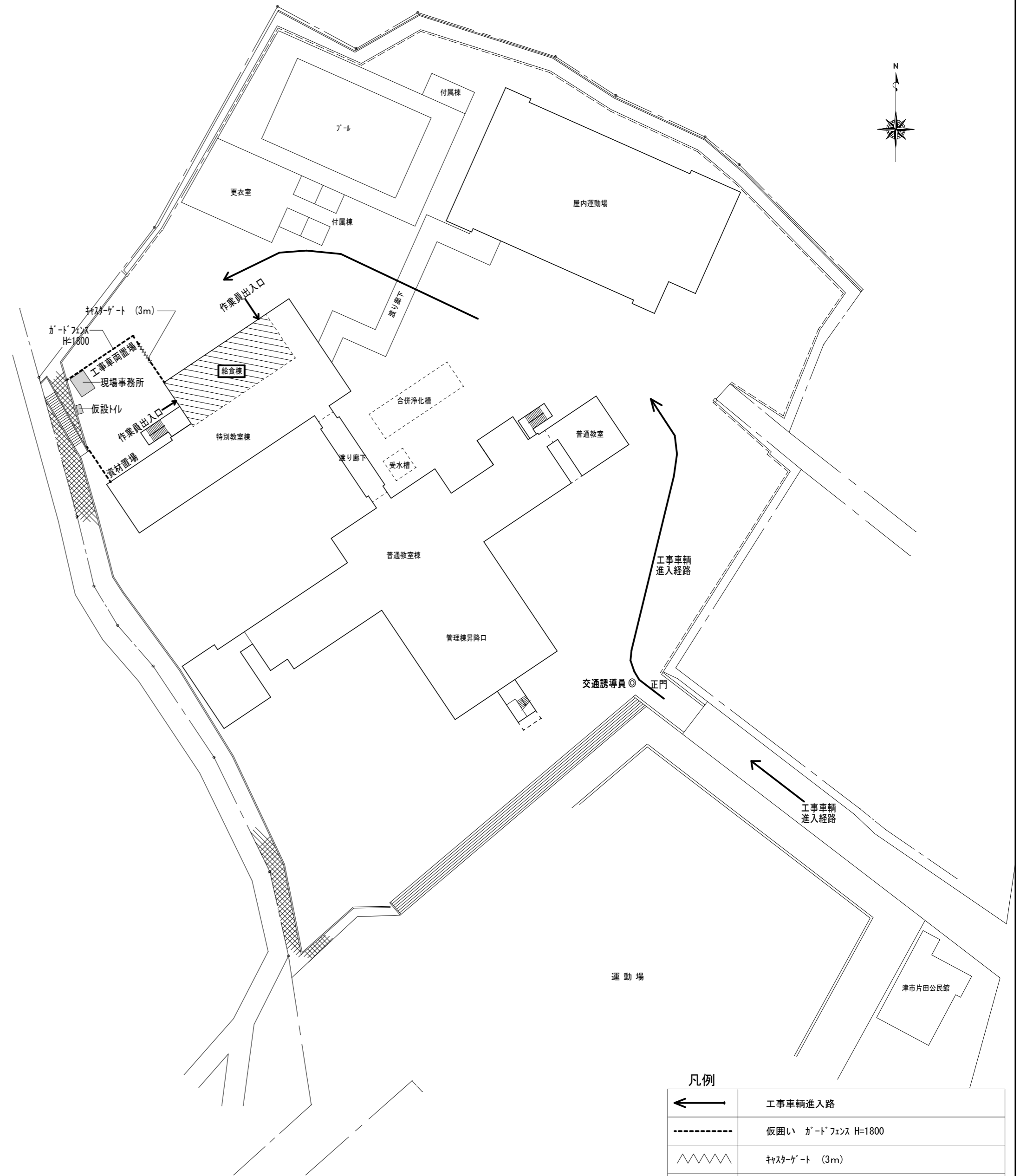
(コンクリート)  
③ コンクリートの材料 (8.2.5) (表8.2.3) セメントの種類  
○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種  
・ ( )  
・ 高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種  
適用箇所 ( )

原図: A 2

<p>⑧の4 耐震改修工事 コンクリート工事</p> <p>④ 混和材料 (8.2.5)</p> <p>5 調合管理強度 (8.2.5) (8.8.3) (8.10.2)</p> <p>⑥ 型枠 (8.2.7) (8.7.8)</p> <p>7 層中コンクリート (8.10.2)</p> <p>8 無筋コンクリート (8.11.1)</p> <p>(現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事、溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法)</p> <p>9 コンクリートの打込み工法等 (8.21.8) (8.23.5)</p> <p>(8.23.6)</p> <p>10 増設壁工事後の仕上げ (8.21.10) (8.23.7)</p>	<p>骨材</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分</p> <p>○ A L (コンクリート中のアルカリ総量を規制)</p> <p>・ A (安全と認められる骨材を使用)</p> <p>なお、A Lで規制できない場合は、Aとし、その試験は、施工着手前、工事中1回/6ヶ月かつ産地が変わった場合に信頼できる試験機関で行い、試験に用いる骨材の採取は、請負者立ち会いのもと、試験を行う者が生コン工場のストックヤードから試料を採取して試験を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊な骨材の使用</li> <li>フェロニッケルスラグ細骨材</li> <li>鋼スラグ細骨材</li> <li>電気炉酸化スラグ骨材</li> <li>再生骨材H</li> </ul> <p>○ 混和剤</p> <p>混和剤の種類</p> <p>○ 改修標準仕様書(8.2.5)(d)(1)による</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>・ 混和材</p> <p>混和材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.5)(d)(2)による</li> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3N/mm<sup>2</sup></li> <li>6N/mm<sup>2</sup></li> <li>改修標準(仕様書表8.2.4)による</li> </ul> <p>材料</p> <p>○ 複合合板(厚さ○12mm ( ))</p> <p>スリーブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(i)による</li> <li>改修標準仕様書(8.2.7)(g)(2)(ii)による</li> <li>材種( ) 規格( )</li> </ul> <p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6N/mm<sup>2</sup> ( )</li> </ul> <p>構造体強度補正值(S)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>18N/mm<sup>2</sup> ( )</li> </ul> <p>スランプ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15cm</li> <li>18cm ( )</li> </ul> <p>部位別のコンクリートの打設工法の指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事</td> <td>・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> <tr> <td>・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> <tr> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法</td> <td>・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> <tr> <td>・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> <tr> <td>・工法指定なし</td> <td>・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> <tr> <td>・( )</td> <td>・図示(図面番号: ) ・( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>柱頭柱脚の隙間部間の型枠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発泡プラスチック保温材等を埋込む</li> <li>( )</li> </ul> <p>柱頭柱脚の隙間寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>打ち込みコンクリート又はグラウト材の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> <li>60mm ( )</li> </ul> <p>・ 図示(図面番号: )</p>	補強工法	打設工法	部位	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )	・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )	・( )	・図示(図面番号: ) ・( )	<p>⑧の5 耐震改修工事</p> <p>あと施工アンカー工事</p> <p>(あと施工アンカー)</p> <p>① あと施工アンカーの材料 (8.2.4) (表8.2.2)</p> <p>種類</p> <p>○ 金属系 セットの方式 ○ 本体打込み式 (○ 改良型 ・ 従来型)</p> <p>径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>引張耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>せん断耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>接合筋の種類・径・長さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>○ 接着系 カプセル型回転 ○ 打撃式 ・ 有機系 ・ 無機系</p> <p>径及び埋込み深さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>引張耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>せん断耐力 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>アンカー筋の種類 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示(図面番号: )</p> <p>あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>穿孔</p> <p>埋込み配管等の探索の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋探知機(金属探知機)により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。</li> <li>はつり出しによる。</li> <li>( )</li> </ul> <p>あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ○ 実施しない</p> <p>確認試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.11.5)による ( )</li> </ul> <p>確認強度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>場所打ちコンクリート壁の新設工事</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</li> <li>接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー</li> </ul> <p>径[mm] ・ D10</p> <p>長さ[mm] ・ 増打壁厚-40 ( )</p> <p>彫込み深さ[mm] ・ 5d(d: シアコネクタの径)以上 ( )</p> <p>間隔[mm] ・ 500×500</p> <p>シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ( )</p> <p>② あと施工アンカーの施工</p> <p>(8.12.2)</p> <p>(8.12.4)</p> <p>(8.12.5)</p> <p>(8.12.5)</p> <p>(場所打ちコンクリート壁の新設工事)</p> <p>3 シアコネクタ</p>	<p>8の6 耐震改修工事</p> <p>鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 (8.1.5)</p> <p>欄日本鉄骨評価センター又は両全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>J</li> <li>R</li> <li>M</li> <li>H</li> <li>S</li> </ul> <p>2 施工管理技術者 (8.1.5)</p> <p>施工管理技術者(鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等)の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しない</li> <li>する</li> </ul> <p>3 鋼材 (8.2.8)</p> <p>材質・形状及び寸法 ・ 図示(図面番号: )</p> <p>4 高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)</p> <p>高力ボルトの適用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>トルシア形高力ボルト 2種(S10T)</li> <li>JIS形高力ボルト2種(F10T)</li> <li>溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)</li> </ul> <p>8の7 耐震改修工事</p> <p>グラウト工事</p> <p>1 モルタル及びグラウト材 (8.2.6) (表8.2.5) (表8.2.10)</p> <p>構造体用モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.11)による。</li> </ul> <p>無収縮モルタル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.11)(a)による</li> <li>( )</li> </ul> <p>グラウト材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改修標準仕様書(8.2.11)(b)による。</li> </ul> <p>増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>処理方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 増設壁の上部</td> <td>・ グラウト材を注入</td> <td>・ 寸法は図示による</td> </tr> <tr> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 既存構造体との取合部の処理方法 (8.21.9) (8.22.7)</p> <p>8の8 耐震改修工事</p> <p>柱補強工事</p> <p>(連続繊維補強工事)</p> <p>1 連続繊維シート等による工法 (8.24.1)</p> <p>連続繊維による補強、補修工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(財)日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。</li> <li>( )</li> </ul> <p>2 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料 (8.23.6)</p> <p>連続繊維の材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>引張強度(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>ヤング係数(含浸硬化後)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>( )</li> </ul> <p>3 連続繊維シートの施工準備</p> <p>仕上げモルタルの除去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存構造体面まで除去する</li> <li>モルタル除去は行わない</li> <li>( )</li> </ul>	部位	処理方法	備考	・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入	・ 寸法は図示による	・ ( )	・ ( )	・ ( )	<p>8の9 耐震補強工事</p> <p>スリット新設工事</p> <p>免震改修工事</p> <p>(耐震スリット新設工事)</p> <p>1 スリットの種類 (8.25.1) (8.25.2)</p> <p>付着強度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施する(JIS A6909に準拠する)</li> <li>試験数量( )</li> <li>実施しない</li> </ul> <p>耐震スリットの種類及び形状</p> <p>完全スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>一般型</th> <th>一面せん断型</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ( )</td> <td>・ 切断してよい ・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>部分スリットの形状</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>片側スリット</th> <th>両面スリット</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>形状</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td>・ 図示(図面番号: )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅W(mm)</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> <td>・ 図示(図面番号: ) ・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地部の残存厚さt5(mm)</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ( )</td> <td>・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>既存鉄筋の処理</td> <td>・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ( )</td> <td>・ 存置する ・ 切断してよい</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>8の10 その他工事</p> <p>1 基礎工事 (8.28.2) (8.28.3)</p> <p>既存杭の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図示(図面番号: )</li> </ul> <p>埋戻し及び盛土の材料及び工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>A種</li> <li>B種</li> <li>C種</li> <li>D種</li> </ul> <p>建設発生土の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自由処分</li> <li>処分地指定 処分地( )</li> <li>処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8km</li> </ul> <p>山留めの撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>撤去</li> <li>存置</li> </ul> <p>9 環境配慮改修工事</p> <p>1 アスベスト含有材の処理工事 (9.1.1)</p> <p>施工調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アスベスト含有建材の事前調査</li> <li>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。</li> </ul> <p>調査範囲 ・ 図示(図面番号: ) ( ) ( )</p> <p>貸与資料 ( )</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクリノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロソライト、トシモライト</p> <p>分析方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>JIS A 1481-1(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法)による</li> <li>JIS A 1481-2(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部:試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法)による</li> <li>JIS A 1481-3(建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部:アスベスト含有率のX線回折定量分析方法)による</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数( )</td> <td>・ 箇所数( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図示(図面番号: ) ( ) ( )</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定4</td> <td></td> <td>負圧・除じん装置の排気吹出し口</td> <td>出口吹出し風速1m/s以下の位置</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定5</td> <td></td> <td>処理作業室外(敷地境界)</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定6</td> <td>処理作業後(シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定7</td> <td>処理作業後シート撤去後1週間以降</td> <td>処理作業室内</td> <td>計点</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>測定8</td> <td></td> <td>調査対象外部の付近</td> <td>計点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8</th> <th>測定5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1 ( )</td> <td>・ 5 ( )</td> <td>・ 10 ( )</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5 ( )</td> <td>・ 120 ( )</td> <td>・ 240 ( )</td> </tr> </tbody> </table>	記号	一般型	一面せん断型		形状	・ 図示(図面番号: )	・ 図示(図面番号: )		幅W(mm)	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )		既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ( )	・ 切断してよい ・ ( )		記号	片側スリット	両面スリット		形状	・ 図示(図面番号: )	・ 図示(図面番号: )		幅W(mm)	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )		目地部の残存厚さt5(mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ( )	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ( )		既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ( )	・ 存置する ・ 切断してよい		材料名	定性分析	定量分析		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )		・ 箇所数( )	・ 箇所数( )	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点	・	測定2		調査対象外部の付近	計点	・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点	・	測定4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置	・	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計点	・	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	計点	・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点	・	測定8		調査対象外部の付近	計点		測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47	試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ( )	・ 5 ( )	・ 10 ( )	試料の吸引時間(min)	・ 5 ( )	・ 120 ( )	・ 240 ( )	<p>訂正</p> <p>特記</p> <p>工事名称</p> <p>津市立片田小学校給食受入施設改修工事</p> <p>図面内容</p> <p>特記仕様書5</p> <p>図面番号</p> <p>A-05</p> <p>縮尺</p> <p>年月日</p> <p>図内</p> <p>区分</p>
	補強工法	打設工法	部位																																																																																																																																														
	現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
		・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
		・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
	鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・流込み工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(1)及び(b)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
		・圧入工法 改修標準仕様書(8.21.8)(a)(2)及び(c)	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
		・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
		・( )	・図示(図面番号: ) ・( )																																																																																																																																														
	部位	処理方法	備考																																																																																																																																														
・ 増設壁の上部	・ グラウト材を注入	・ 寸法は図示による																																																																																																																																															
・ ( )	・ ( )	・ ( )																																																																																																																																															
記号	一般型	一面せん断型																																																																																																																																															
形状	・ 図示(図面番号: )	・ 図示(図面番号: )																																																																																																																																															
幅W(mm)	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																																																																																																																															
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ( )	・ 切断してよい ・ ( )																																																																																																																																															
記号	片側スリット	両面スリット																																																																																																																																															
形状	・ 図示(図面番号: )	・ 図示(図面番号: )																																																																																																																																															
幅W(mm)	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )	・ 図示(図面番号: ) ・ ( )																																																																																																																																															
目地部の残存厚さt5(mm)	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ( )	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・ ( )																																																																																																																																															
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ( )	・ 存置する ・ 切断してよい																																																																																																																																															
材料名	定性分析	定量分析																																																																																																																																															
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																																																																																															
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																																																																																															
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																																																																																															
	・ 箇所数( )	・ 箇所数( )																																																																																																																																															
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)																																																																																																																																													
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計点																																																																																																																																													
・	測定2		調査対象外部の付近	計点																																																																																																																																													
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	計点																																																																																																																																													
・	測定4		負圧・除じん装置の排気吹出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置																																																																																																																																													
・	測定5		処理作業室外(敷地境界)	計点																																																																																																																																													
・	測定6	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	計点																																																																																																																																													
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計点																																																																																																																																													
・	測定8		調査対象外部の付近	計点																																																																																																																																													
	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定5																																																																																																																																														
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	47																																																																																																																																														
試料の吸引流量(L/min)	・ 1 ( )	・ 5 ( )	・ 10 ( )																																																																																																																																														
試料の吸引時間(min)	・ 5 ( )	・ 120 ( )	・ 240 ( )																																																																																																																																														



付近見取図



配置図兼仮設計画図 S=1/600

：改修建物

凡例	
	工事車輛進入路
	仮囲い ゲート高さ H=1800
	キヤンケート (3m)
	交通誘導員

原図：A 2

□ 仕上表

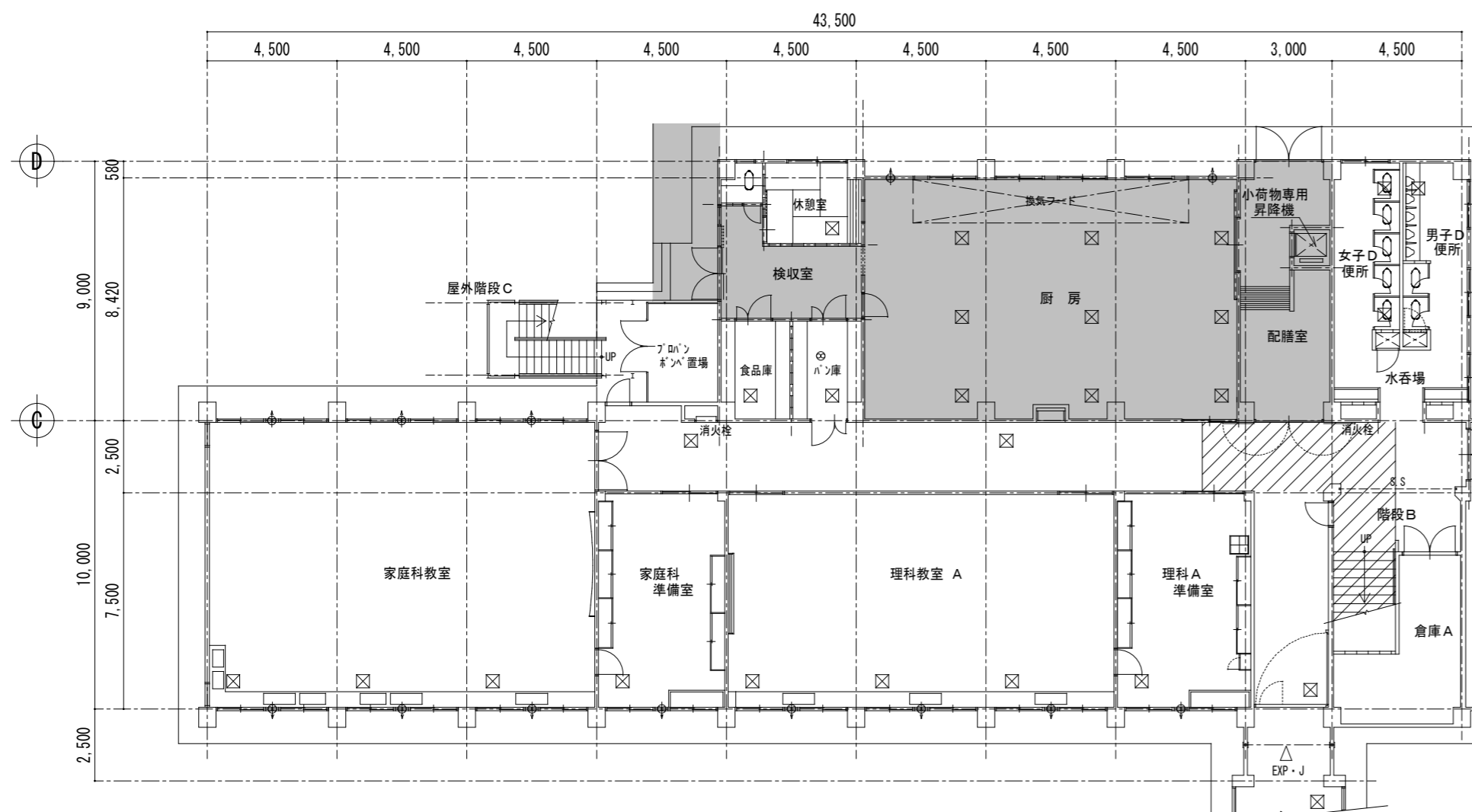
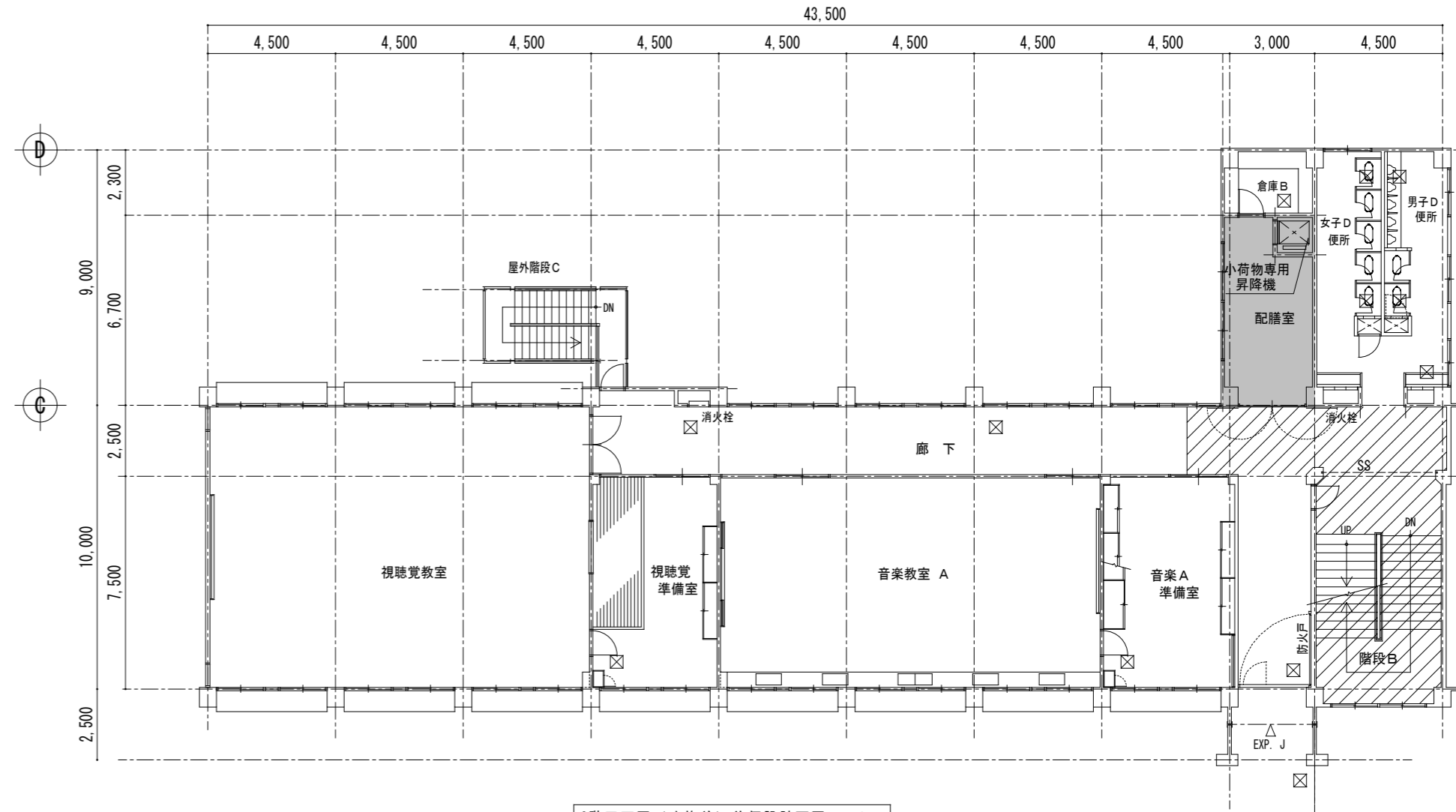
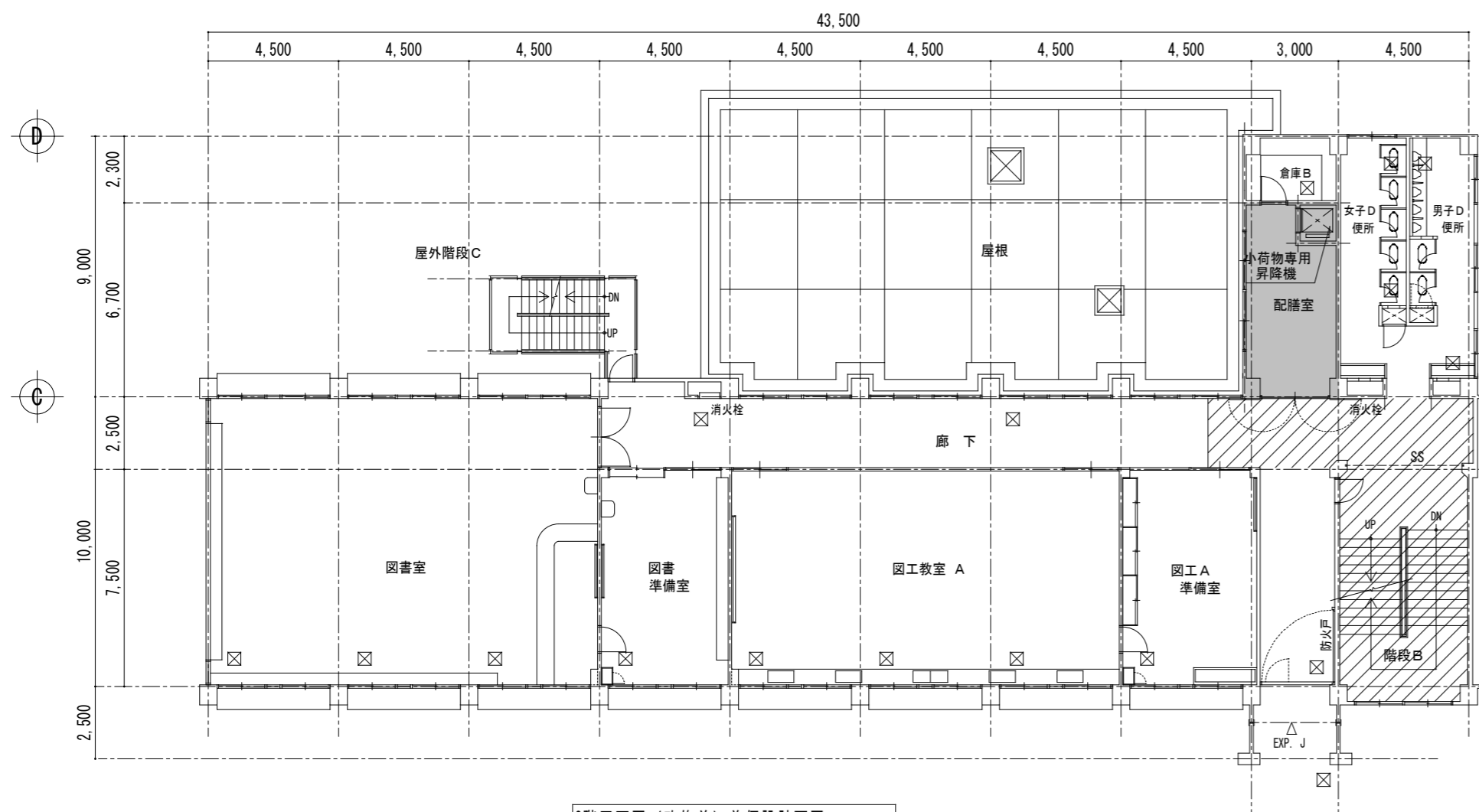
給食棟

外部仕上表			
場所		仕上内容	備考
検収室前入口	改修前	コンテ入口*土間 (撤去) U字溝W300 (一部撤去) アスファルト舗装 (一部撤去)	
	改修後	アスファルト新設 (配筋D10@200呼び共) SUS製玄関排水工新設 U字溝W300新設 (みぞ蓋共) アスファルト舗装新設	7&製底新設: L=5100×D=1600

内部仕上表									
階	室名		床	巾木	壁	天井	天井高	備考	
1階	給食室	改修前	モルタル下塗り (一部撤去) 土間コンクリート一部撤去 グレーチング (撤去) 洗い場立上り (撤去) コンクリート梁台 (撤去)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	100角タイル貼 (一部撤去) モルタル下塗り (既設のまま)	けい酸カルシウム板 VP塗 (一部撤去) 下地LGS19共	2,980		
		改修後	土間コンクリートt=370 (新設) グレーチング (新設) 土間コンクリートt=300 (新設) モルタル補修		間仕切壁新設: (下地LGS65) けい酸カルシウム板t=8.0 素地のまま 陶器質100角タイル (一部新設)	けい酸カルシウム板t=6 NAD塗 (新設) 塩ビ廻縁、下地LGS19共	2,980		
	新配膳室	改修後	土間コンクリートt=370 (新設) 土間コンクリートt=300 (新設) ビニル床シートt=2.5 (新設) 下地モルタル共 土間コンクリートt=200 (新設)	ワト巾木H=300 (新設)	間仕切壁新設: (下地LGS65) けい酸カルシウム板t=6.0 (二重張り) NAD塗 陶器質100角タイル (一部新設)	化粧PBt=9.5 (新設) 塩ビ廻縁、下地LGS19共	2,980	ライニング壁新設: (下地LGS90) 耐水合板t=12、化粧けい酸カルシウム板t=6.0 面台*スチールt=25×D120 (新設) 洗面台 (新設) 軽量鋼製建具 (新設)	
	検収室	改修前	モルタル下塗り (一部撤去) 洗い場 (撤去) グレーチング (撤去)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	モルタル下塗り (一部撤去)	けい酸カルシウム板 VP塗 (既設のまま)	2,500	スチール製建具 (撤去) 7&製引違い網戸 (撤去)	
		改修後	土間コンクリートt=300 (新設) モルタル補修	—	モルタル補修	—	2,500	7&製建具 (新設)	
	配膳室	改修前	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま) ビニル床タイル (既設のまま)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	モルタル下塗り (一部撤去)	けい酸カルシウム板 VP塗 (一部撤去)	2,385 2,500		
		改修後	—	—	—	けい酸カルシウム板t=6 NAD塗 (一部新設) 塩ビ廻縁共	2,385 2,500		
	休憩室	改修前	畳4.5畳 (撤去)	—	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	けい酸カルシウム板 VP塗 (既設のまま)	—		
		改修後	畳4.5畳 (新設)	—	—	—	—	小荷物専用昇降機 (枠・扉) 下地調整の上SOP塗替	
	2階	配膳室	改修前	ビニル床タイル (一部撤去)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	けい酸カルシウム板 VP塗 (一部撤去)	2,500	
改修後			—	下地調整の上NAD塗替 新設PS部ワト巾木H=100新設	下地調整の上NAD塗替 PS新設: (下地LGS65) PBt=12.5NAD塗	けい酸カルシウム板t=6 NAD塗 (新設) 塩ビ廻縁共	2,500	ライニング壁新設: (下地LGS90) 耐水合板t=12、化粧けい酸カルシウム板t=6.0 面台*スチールt=25×D12 (新設) 洗面台 (新設) 小荷物専用昇降機 (枠・扉) 下地調整の上SOP塗替	
3階	配膳室	改修前	ビニル床タイル (一部撤去)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	モルタル下塗り VP塗 (既設のまま)	けい酸カルシウム板 VP塗 (既設のまま)	2,500		
		改修後	—	下地調整の上NAD塗替 新設PS部ワト巾木H=100新設	下地調整の上NAD塗替 PS新設: (下地LGS65) PBt=12.5NAD塗	—	2,500	ライニング壁新設: (下地LGS90) 耐水合板t=12、化粧けい酸カルシウム板t=6.0 面台*スチールt=25×D12 (新設) 洗面台 (新設) 小荷物専用昇降機 (枠・扉) 下地調整の上SOP塗替	
備考									

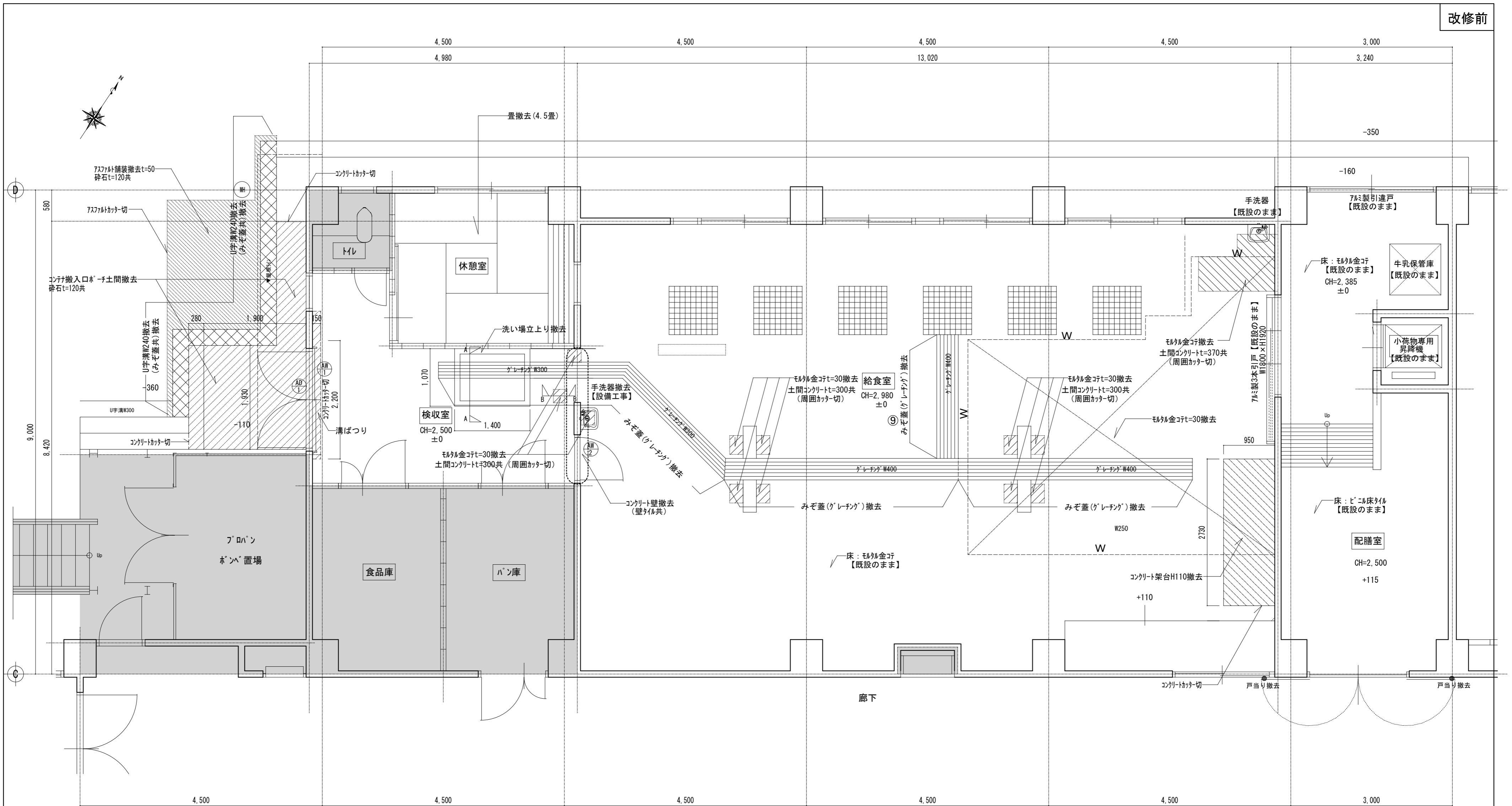
原図: A 2





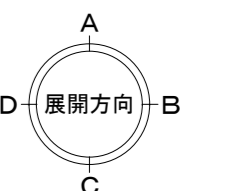
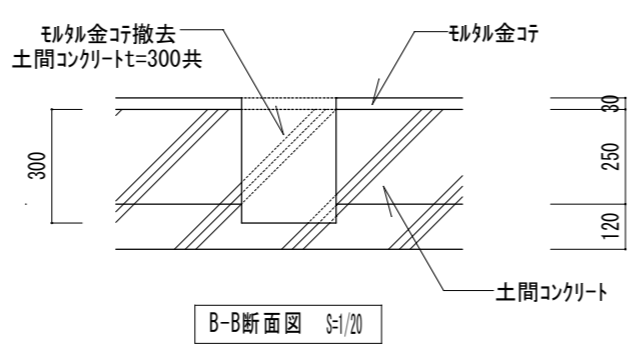
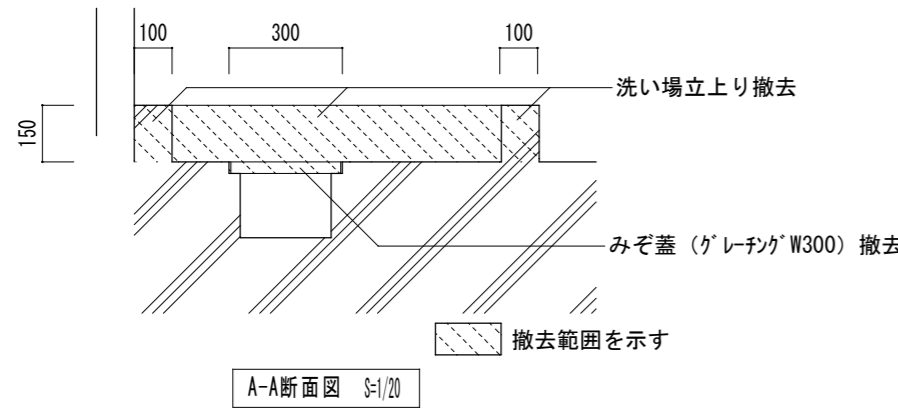
- 凡例
- 工事範囲を示す
  - ▨ 床養生を示す (シート+ベニヤ)

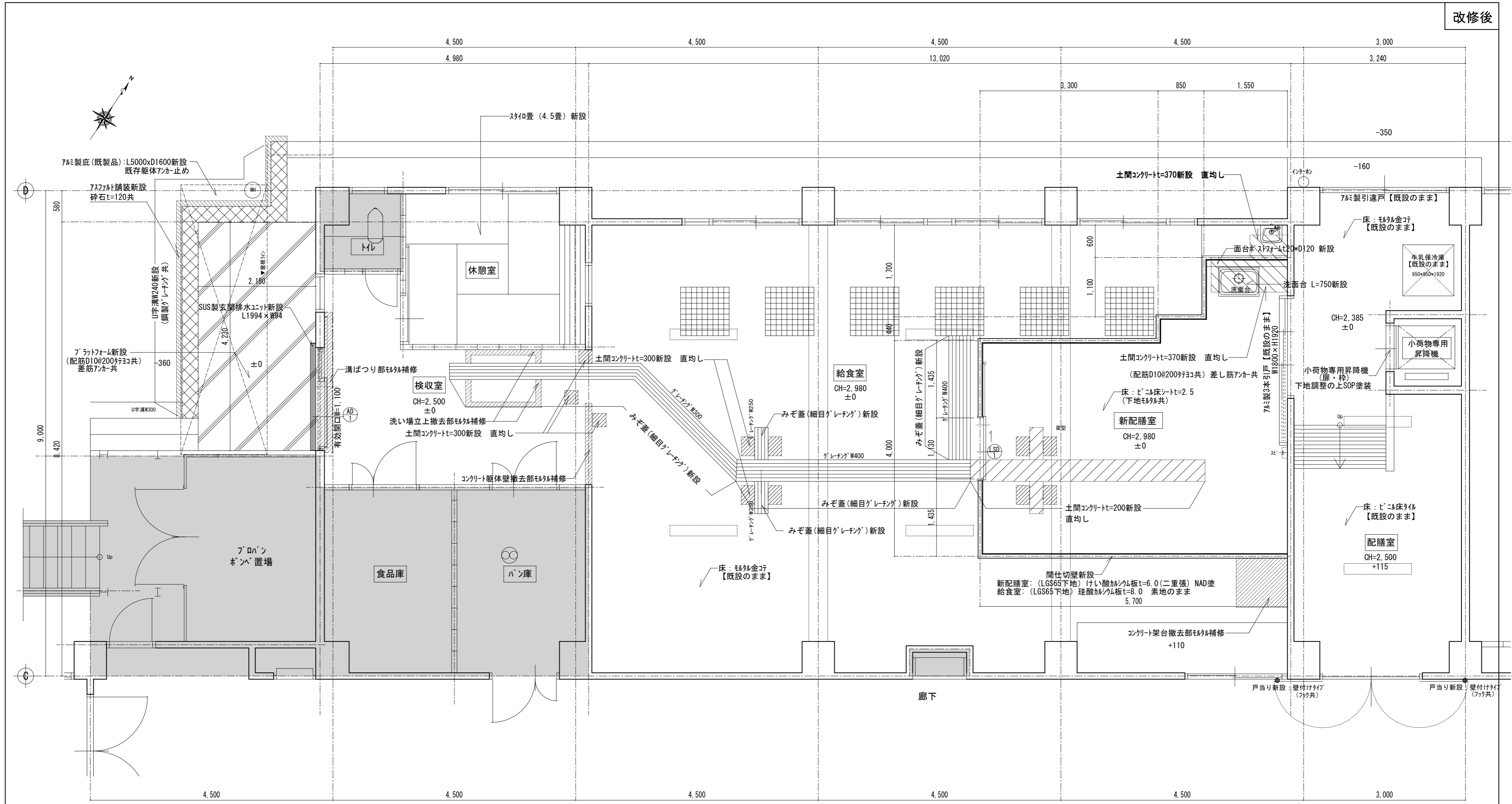
原図：A 2



1階平面詳細図 (改修前) S=1/50

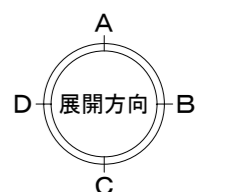
- 凡例
- 珪石コテ=30撤去  
土間コンクリート=300共 (周囲カッター切)
  - 珪石コテ=30撤去  
土間コンクリート=370共 (周囲カッター切)
  - コンクリート撤去  
砕石t=120共
  - 7x7タイル撤去  
砕石t=120共 (周囲カッター切)
  - コンクリート撤去  
砕石t=120共
  - U字溝W240撤去、溝蓋共





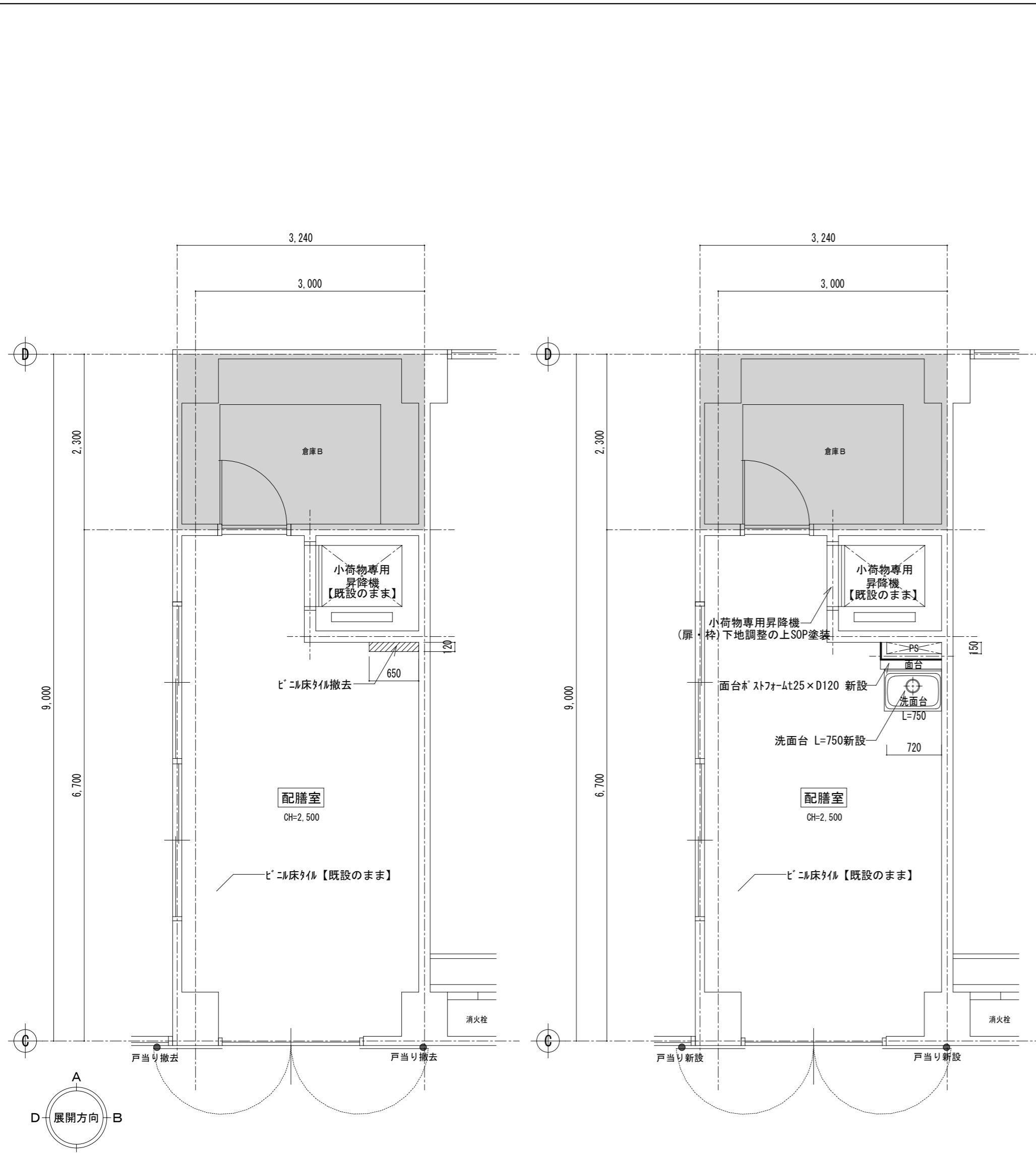
1階平面詳細図 (改修後) S=1/50

- 凡例
- 土間コンクリート=370新設 直均し (配筋D10@200行ヨ共) 差筋アンカー-D10@400共
  - 土間コンクリート=200新設 直均し
  - 土間コンクリート=300新設 直均し
  - モルタル補修
  - アスファルト舗装新設 砕石t=120共
  - U字溝W240新設 (鋼製グレーチング共)



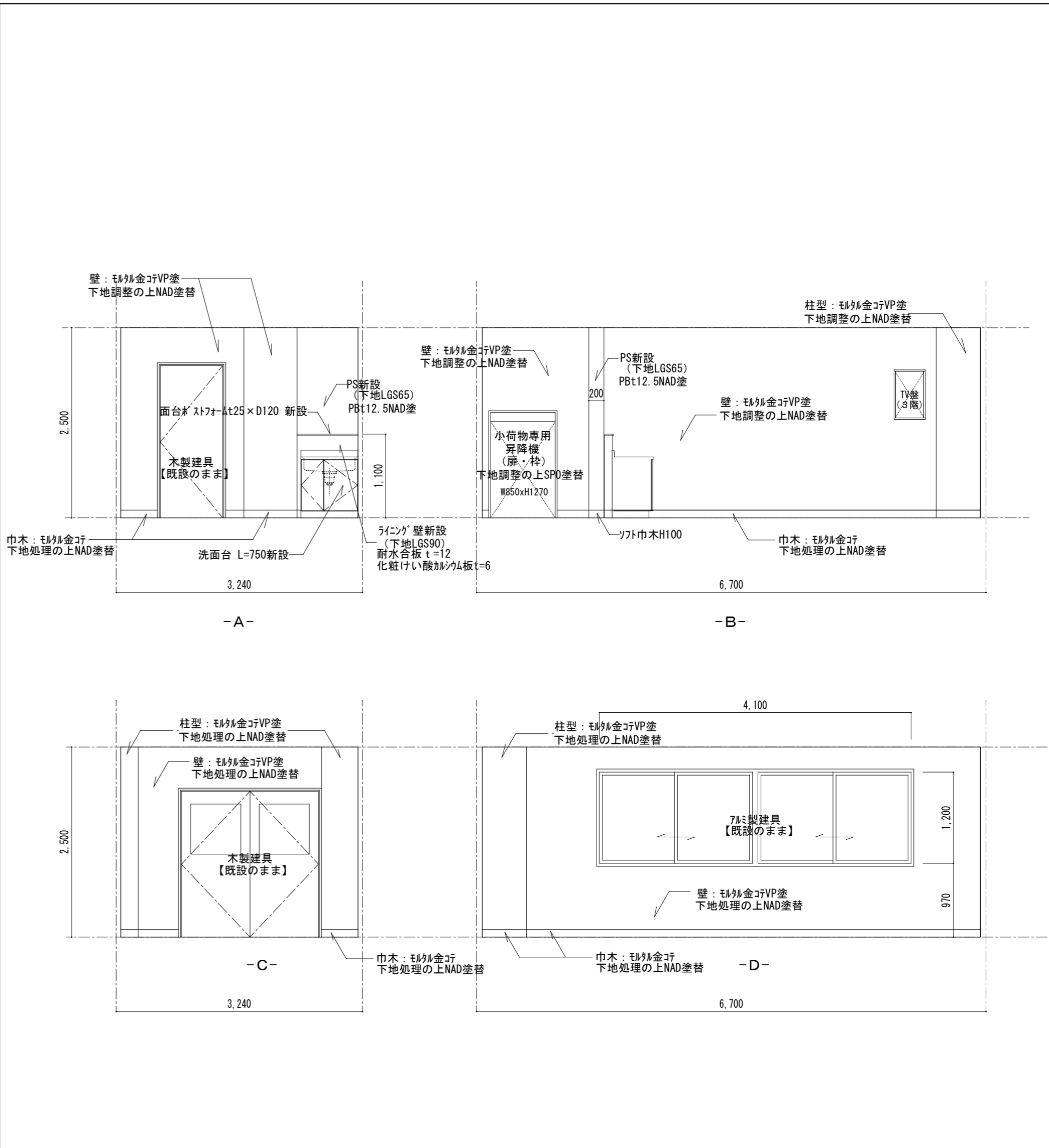
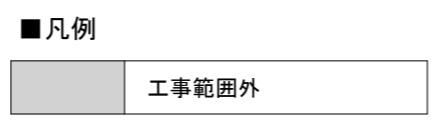
原図: A 2





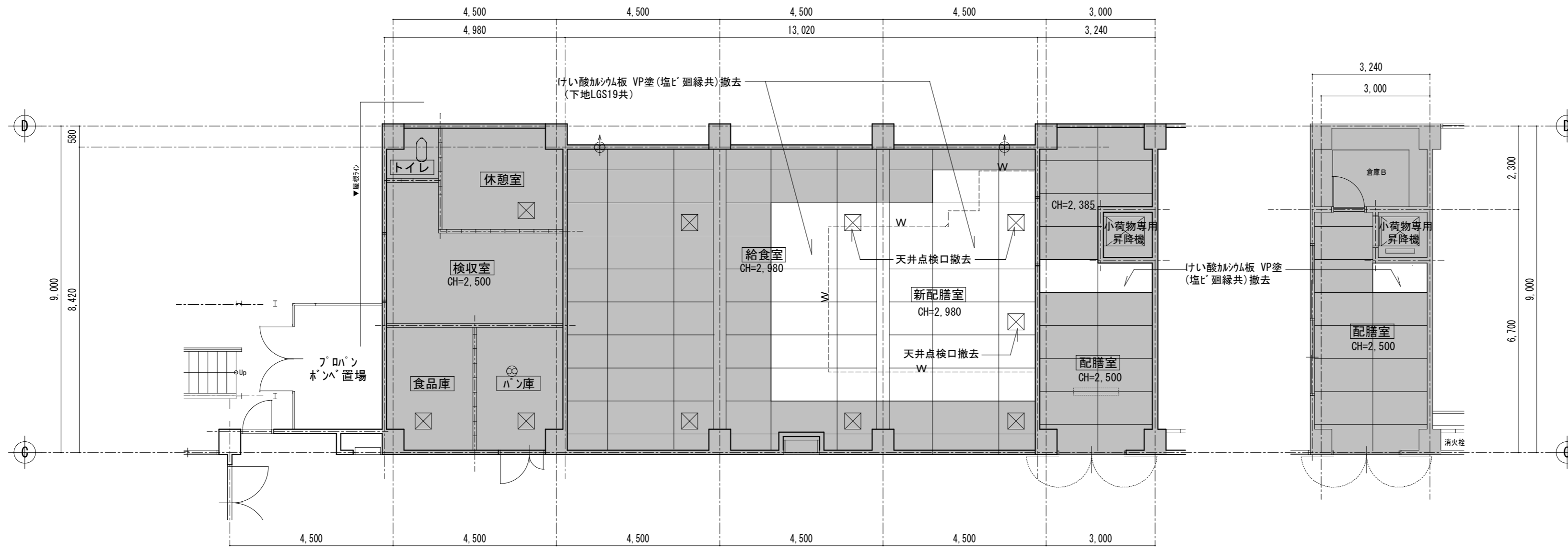
2、3階配膳室平面詳細図 (改修前) S=1/50

2、3階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50



2・3階配膳室展開図 (改修後) S=1/50

原図：A 2

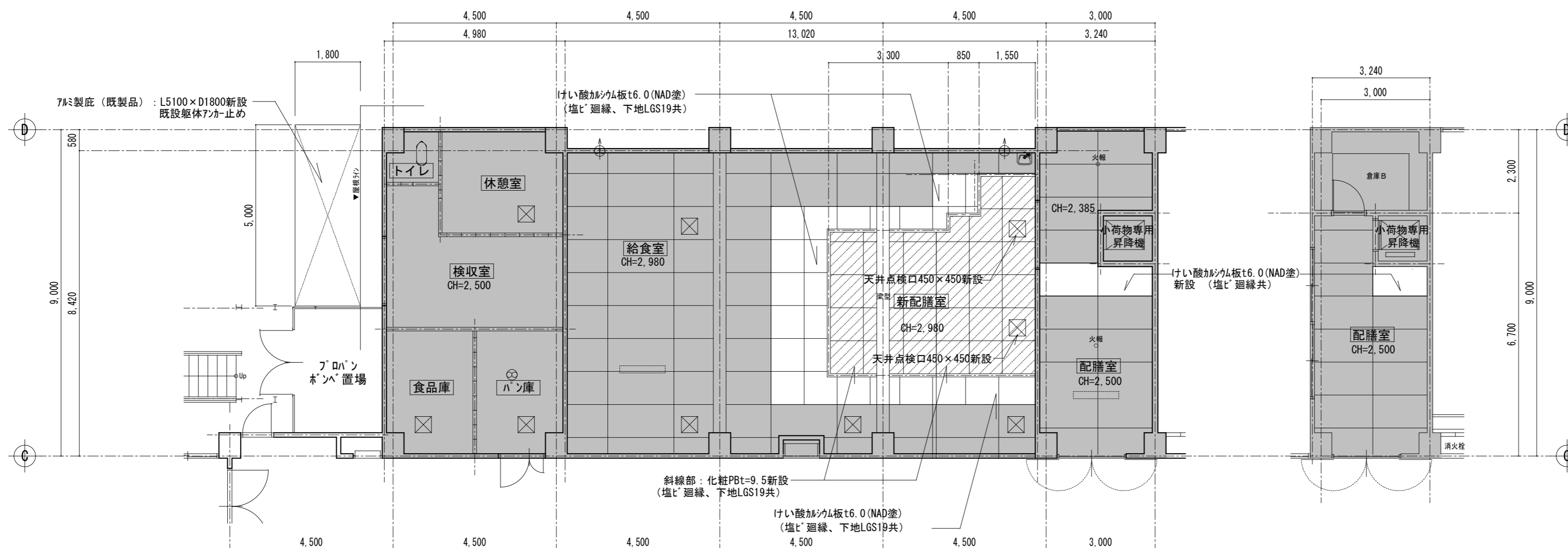


1階天井伏図 (改修前) S=1/100

2階天井伏図 (改修前) S=1/100

■凡例

- ☒ 天井点検口
- 工事範囲外
- W 新設間仕切壁



1階天井伏図 (改修後) S=1/100

2階天井伏図 (改修前) S=1/100

■凡例

- ☒ 天井点検口
- 工事範囲外 (既設のまま)

原図：A 2

訂正

特記

工事名称

津市立片田小学校給食受入施設改修工事

図面内容

1・2階天井伏図 (改修前・後)

縮尺 S=1/100

年月日

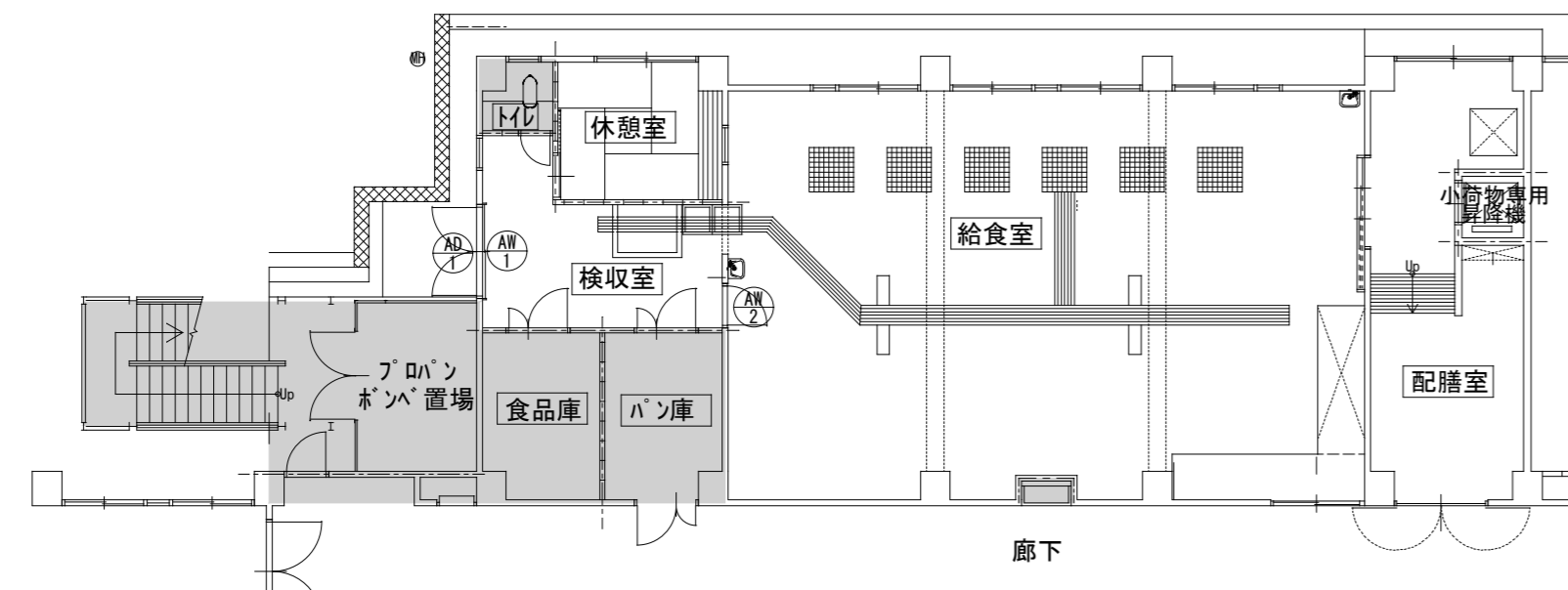
図面番号

A-13

枚/内

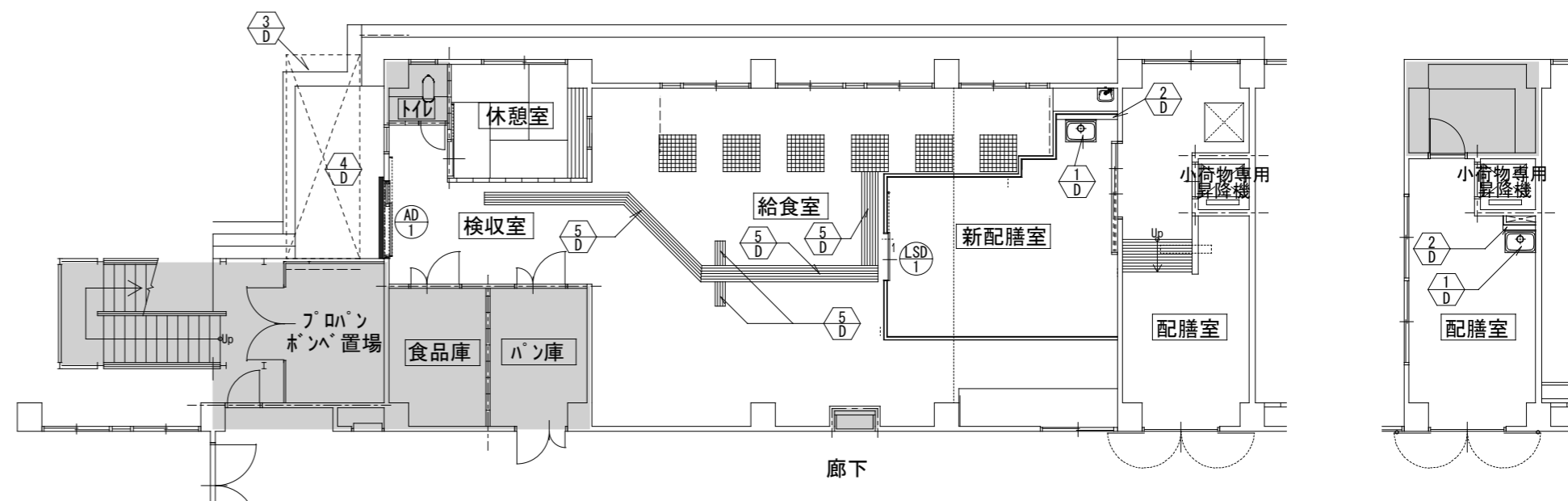
区分

改修前



1階+7F (改修前)

改修後



1階+7F (改修後)

2、3階+7F (改修後)

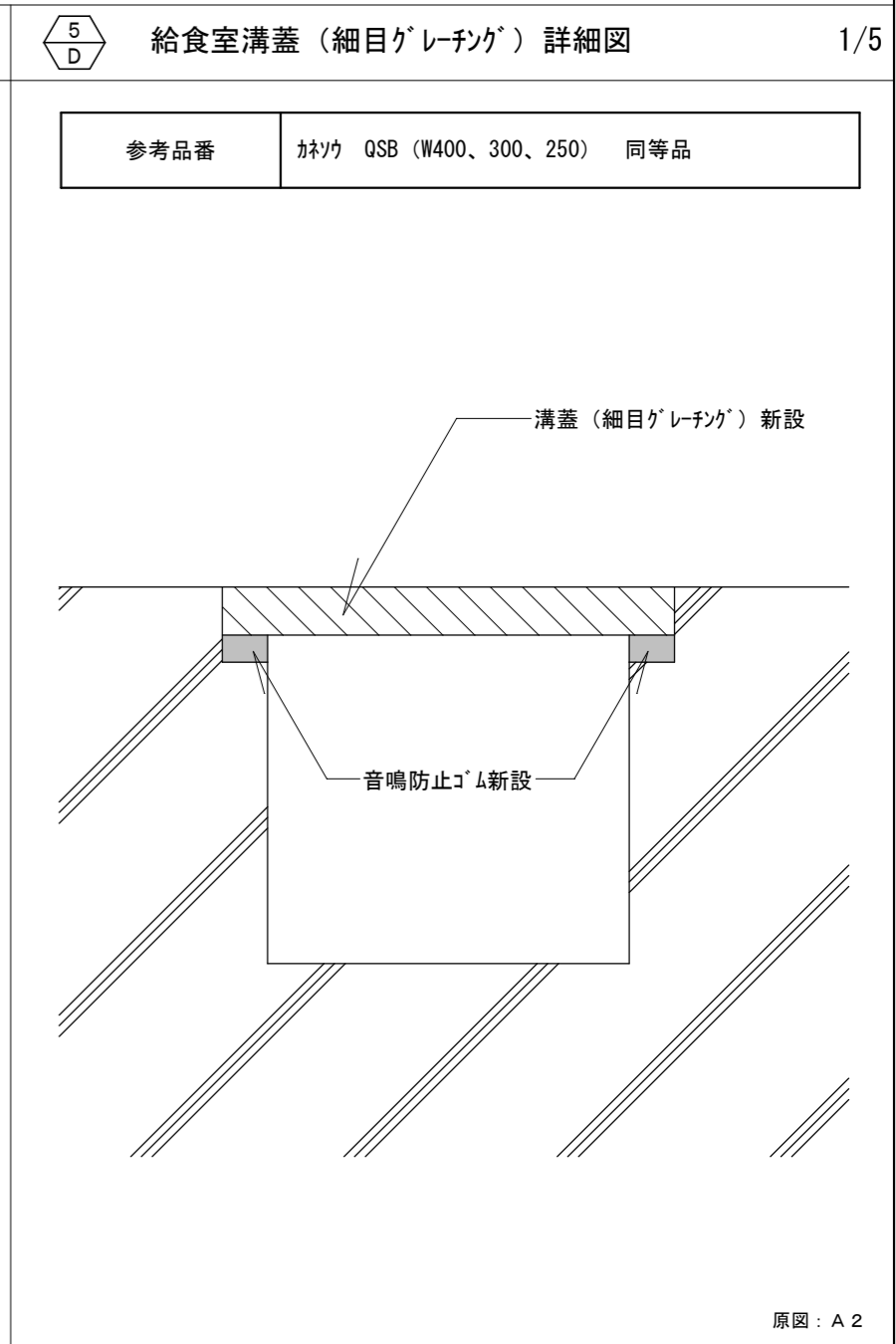
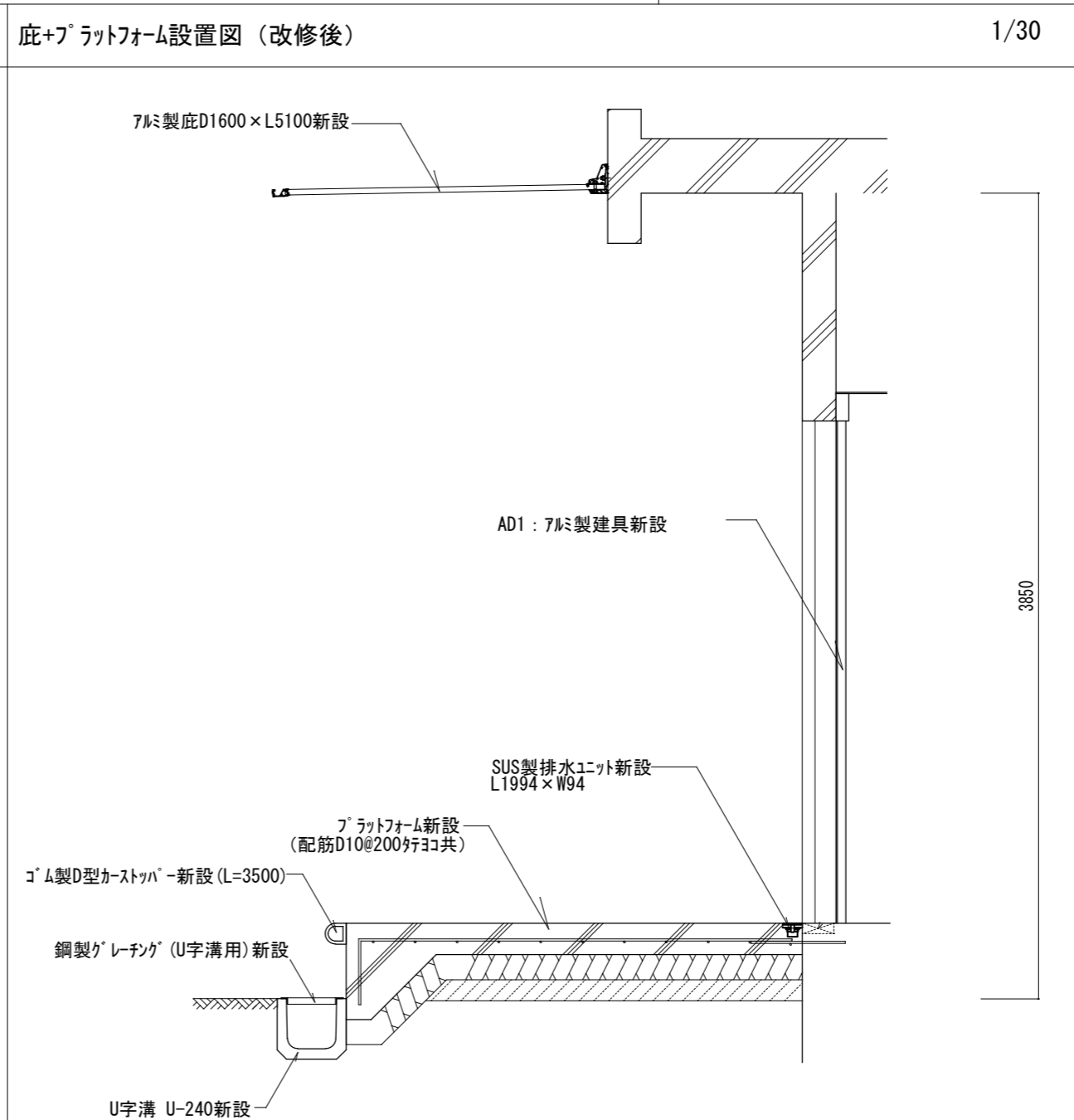
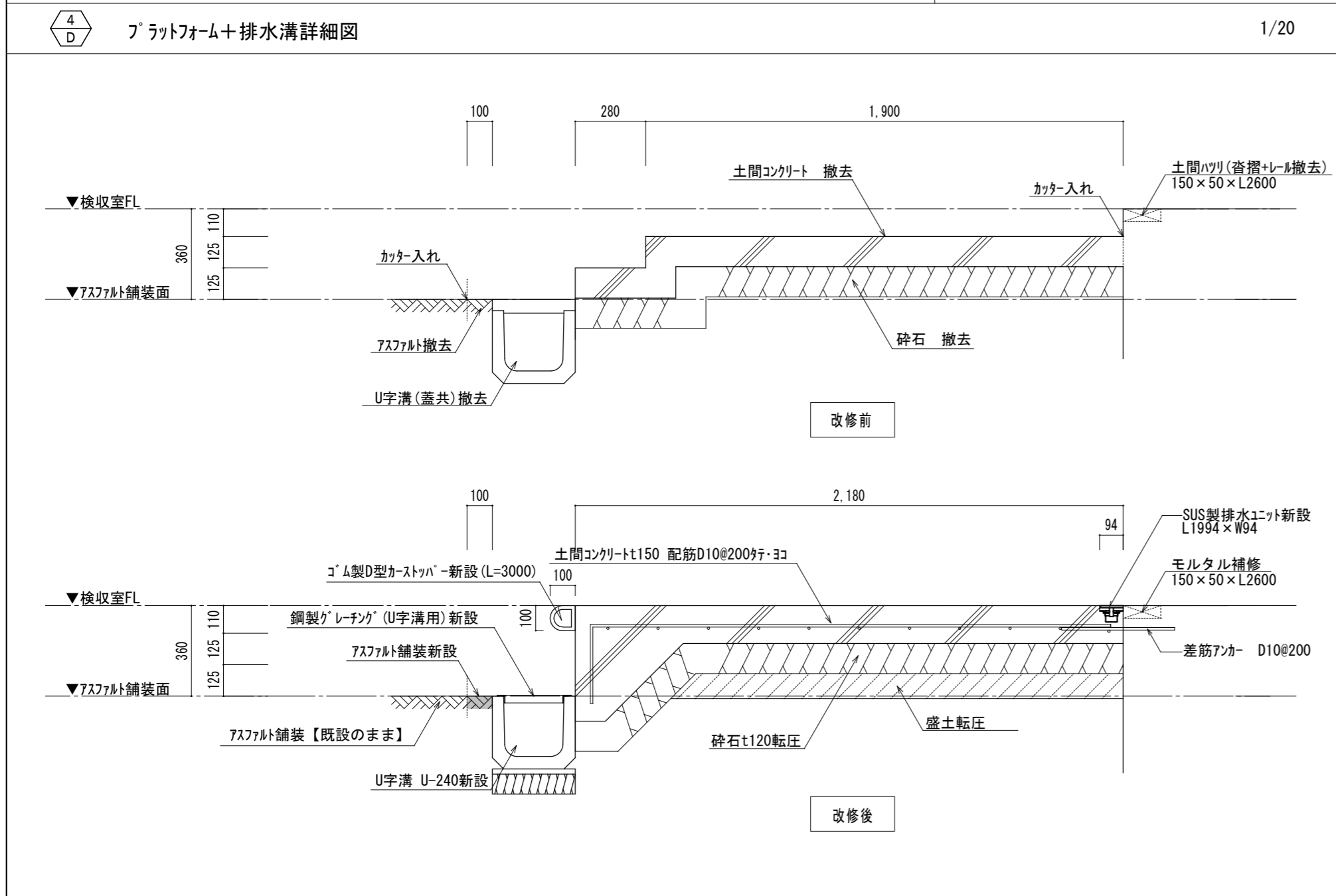
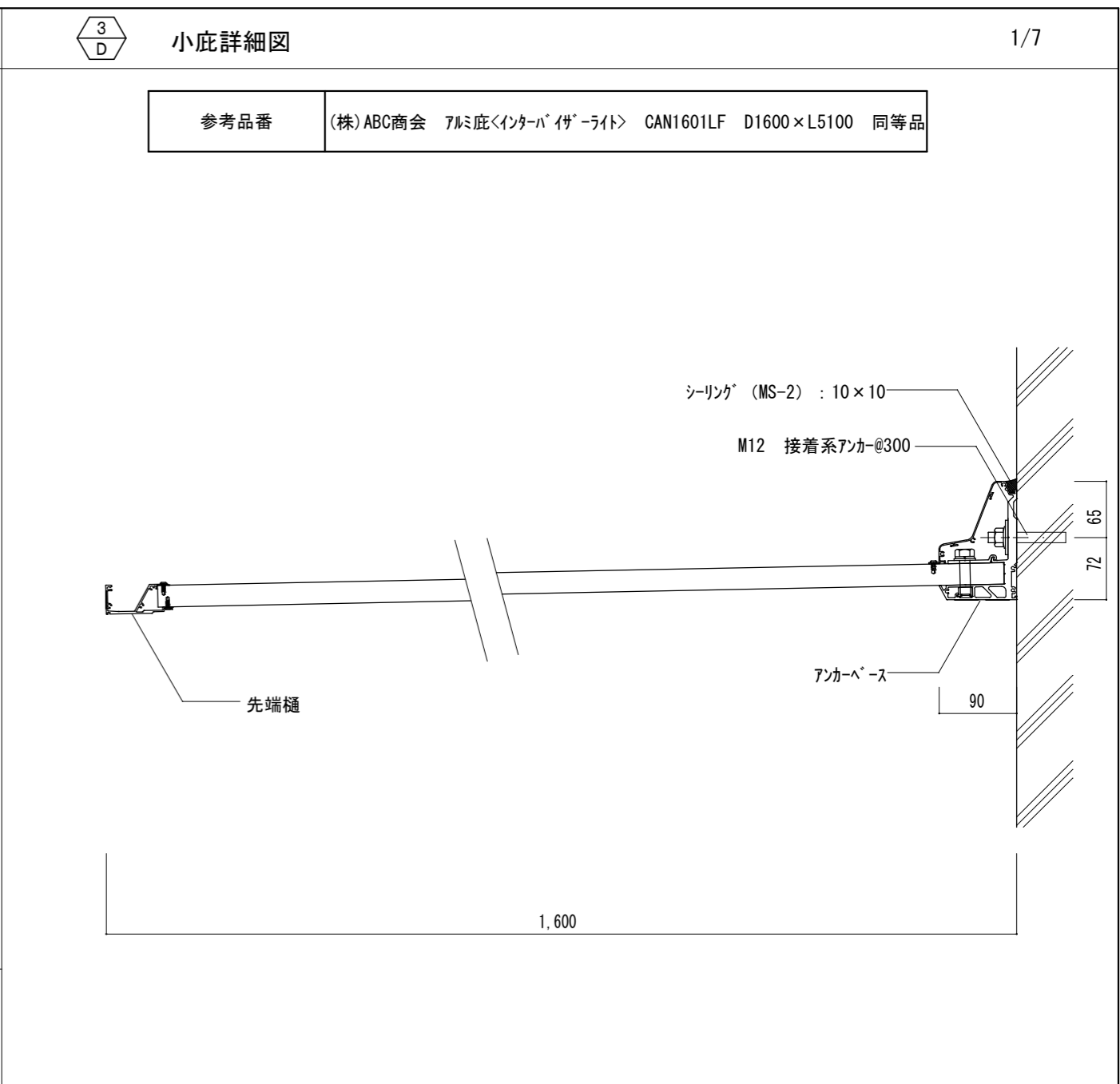
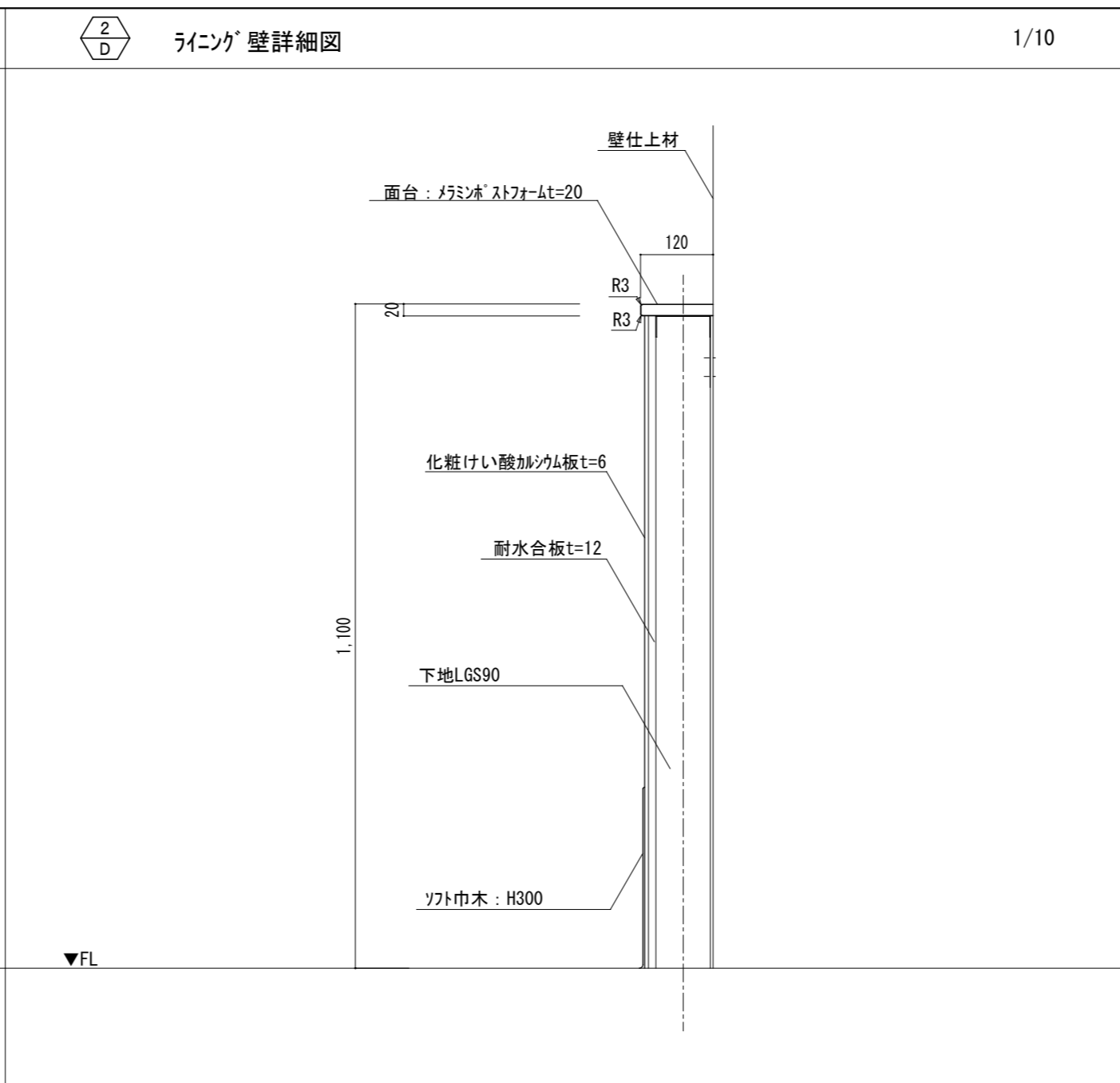
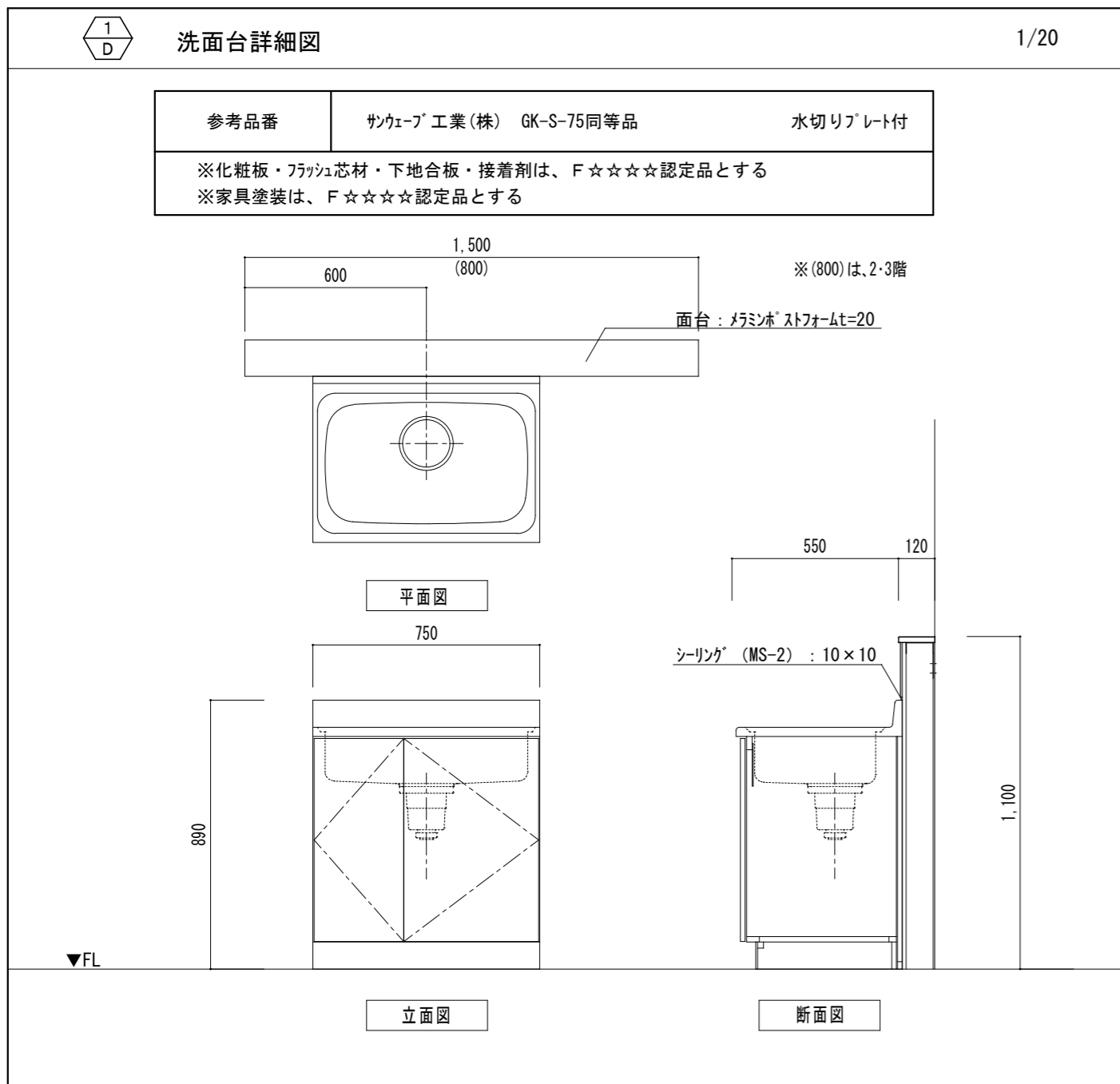
■建具表 (改修前)

符号・数量	AD1 撤去	AW1 撤去	AW2 撤去
姿 図			
型 式・見 込	スチール製両開きドア	アルミ製引違い網戸	アルミ製片開き戸
材 質	アルミ	アルミ	アルミ
仕 上	電解着色	アルマイト	アルマイト
ガ ラ ス	t=3 透明ガラス t=3 すりガラス	ガラス無し	t=3 透明ガラス
金 物	シングル錠、丁番		シングル錠、丁番
備 考	沓摺、レール		

■建具表 (改修後)

符号・数量	AD1 新設	LSD1 新設
姿 図		
型 式・見 込	アルミ製ハコ-框ドア (内動) + Fix	軽量スチールハコ-ドア
材 質	アルミ	化粧鋼板(0.6)、芯材(ハコ-コ7)
仕 上	電解着色	カラー鋼板
ガ ラ ス	t=4 強化ガラス	t=4 型板強化ガラス
金 物	引手、ハコ-吊車、ステンスレール、他必要金物一式 下框シングル錠+戸当り鎌錠	シングル錠(キ-カムタイプ)、ハコ-レール金物一式 ガイドローラー、引棒(SUS製) 自閉(レール傾斜)式、ストップ付、スリット窓
備 考	LIXILフロンテックハコ-ドアシリーズスタンダード壁付同等品	アルミ製額縁(三方枠)、SUS沓摺、戸当り

原図: A 2





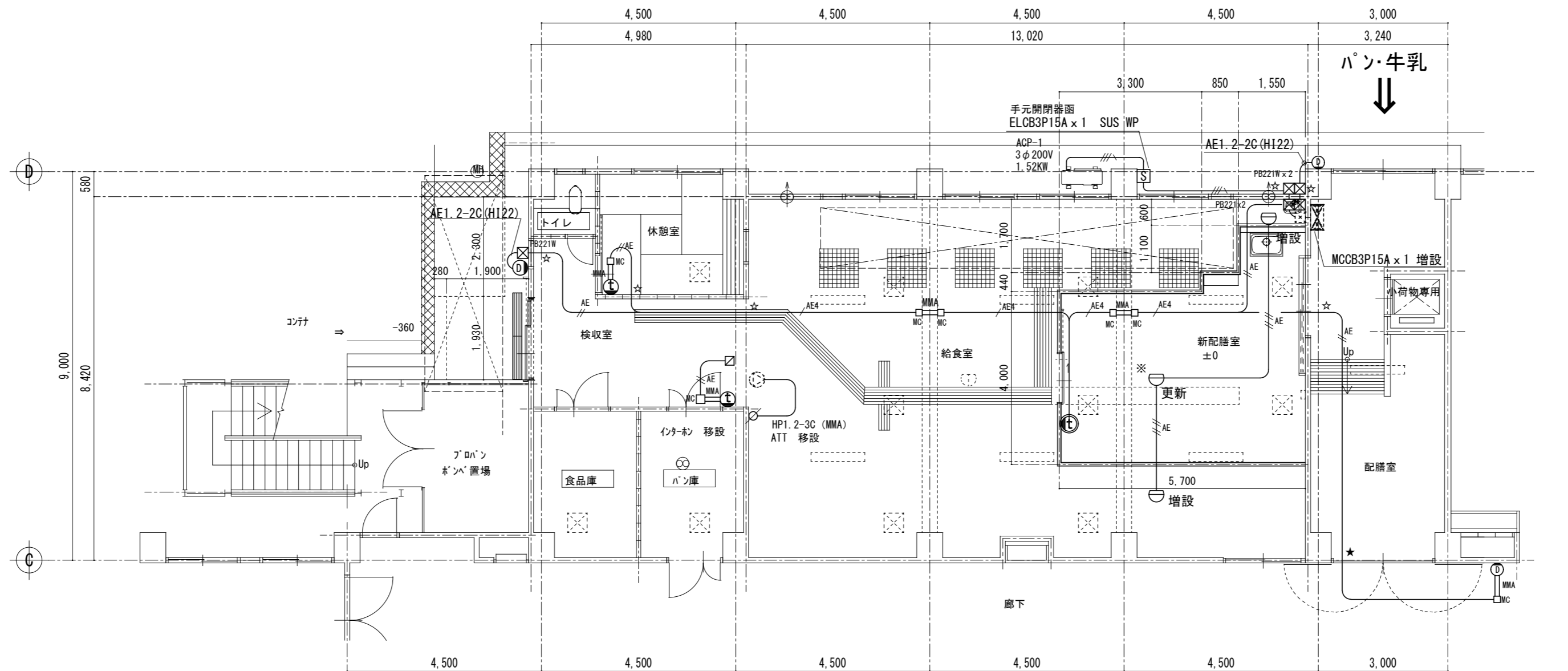
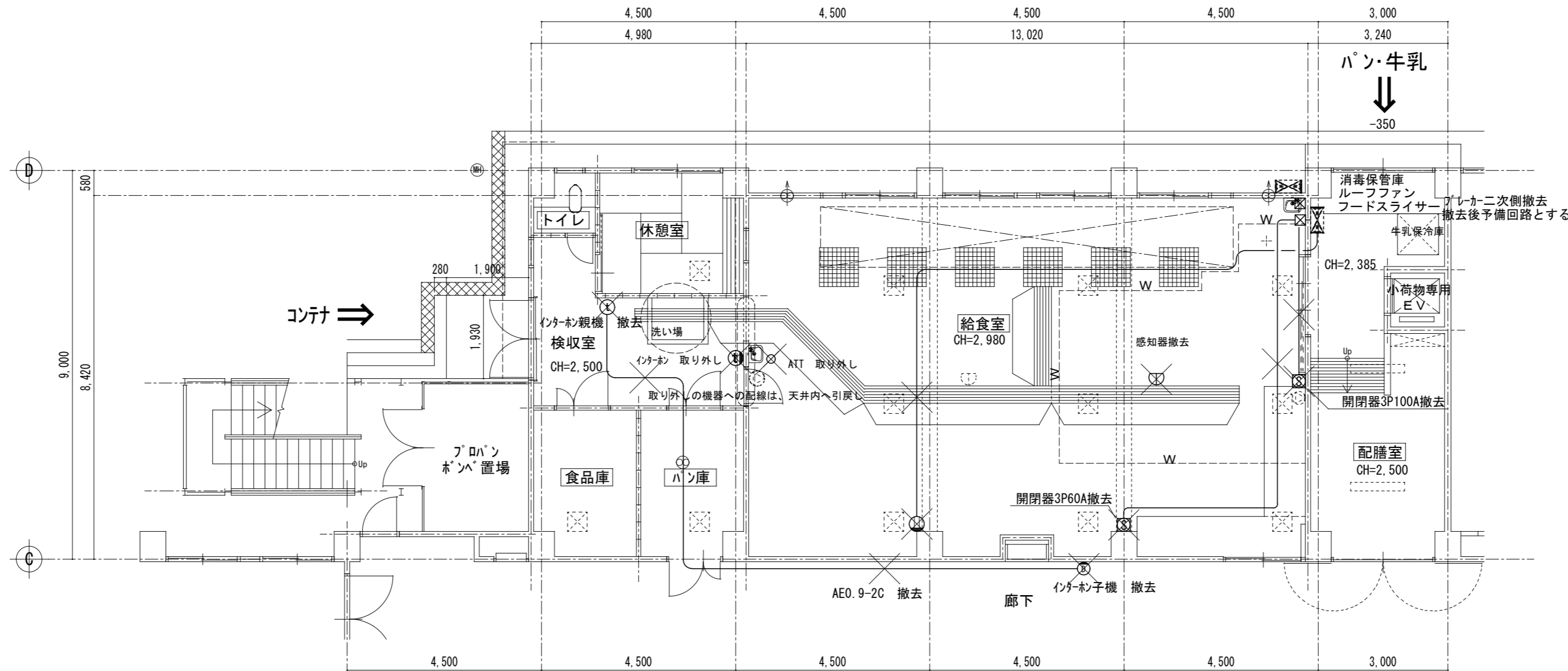
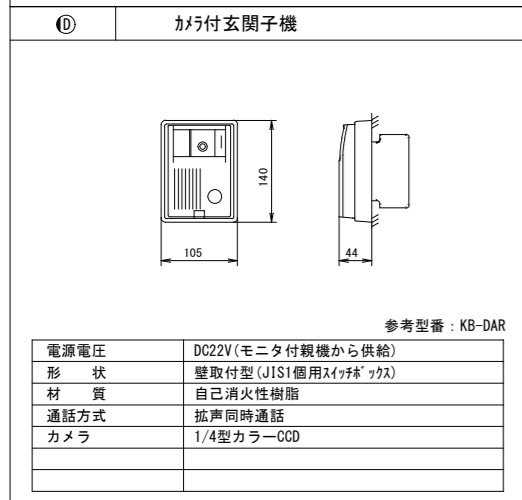
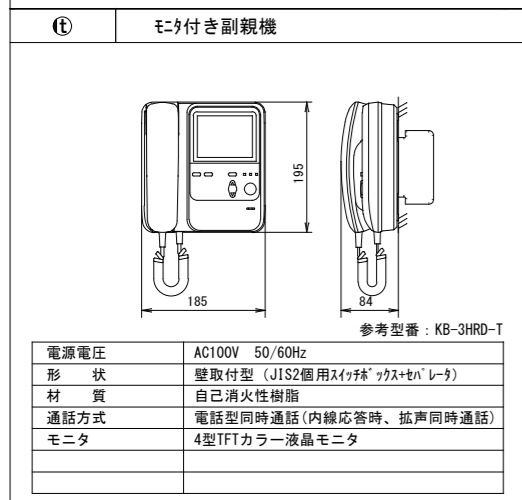
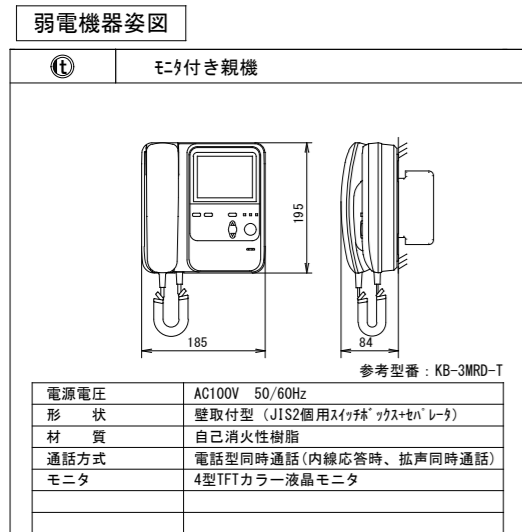
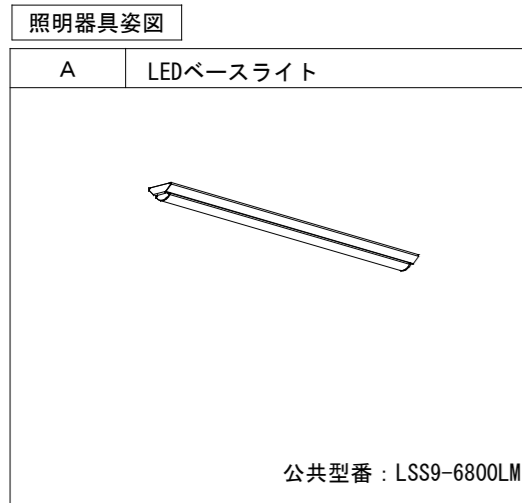




<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1) 設備 ・映像機器 ・音響機器 ・操作装置</p> <p>(2) 映像機器 1) 表示機器 ・プロジェクタ（前面投射式・背面投射式） ・スクリーン（反射マトリクス形・反射ストライプ形・透過形） ・その他（ ・スクリーン巻上装置（電動式・手動式） ・液晶ディスプレイ ）</p> <p>2) 付属機器 ・録音再生装置（・HDD・Blu-ray/DVD・その他（ ）） ・テレビチューナー（・UHF・BS・CS・その他（ ）） ・カメラパソコン ・その他の機器（ ）</p> <p>(3) 音響機器 1) 増幅器 ① 出力（ ）W ② 方式・ステレオ・モノラル ③ 出力インピーダンス・Lo形・Hi形 2) 付属機器 ・グラフィックイコライザー・オーディオミキサー・電源制御器 ・録音再生装置（・CD・メモリアーディオ・その他（ ）） ・ラジオチューナー（・FM・AM・その他（ ）） ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（電波式（アナログ・デジタル）・赤外線式） ・その他の機器（ ）</p> <p>3) スピーカ ・天井分散配置方式・集中配置方式・併用方式・その他（ ）</p> <p>(4) 操作装置 1) 形状・卓型・キャビネットラック型・その他（ ） 2) 設置・固定式・可動式・その他（ ）</p> <p>18. 拡声設備 (1) 機器 ・増幅器 ・付属機器 ・操作装置 ・スピーカ ・その他（ ）</p> <p>(2) 増幅器 ・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照） ・専用 出力（ ）W 出力インピーダンス・Lo形・Hi形</p> <p>(3) 付属機器 ・オーディオミキサー ・リモコンマイク ・電源制御器 ・録音再生装置（・CD・メモリアーディオ・その他（ ）） ・アナウンスメモータ（・チャイルド・独占メッセージ・プログラムタイマ ） ・有線マイクロホン ・無線マイクロホン（電波式（アナログ・デジタル）・赤外線式） ・ラジオチューナー（・FM・AM・その他（ ）） ・スピーカー切替装置（ ） ・その他の機器（ ）</p> <p>(4) 操作装置 ・卓型・キャビネットラック型 ・壁掛型 ・その他（ ）</p> <p>(5) スピーカ ・非常放送兼用（仕様は非常放送装置を参照） ・専用 結線・1W・3W（ ）W インピーダンス・Lo形・Hi形 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ）</p> <p>19. 誘導支援設備 (1) 設備 ・音声誘導装置 ●インターホン ・トイレ等呼出装置</p> <p>(2) 音声誘導装置 1) 検出方式 ・磁気式 ・無線式 ・画像認識式 ・その他（ ） 2) 設置場所 ・屋外（防雨形） ・屋内 ・自動火災報知設備より火災報知信号を受信した場合停止する 3) 機能 ・タイムスケジュールにより停止及び開始を可能とする ・その他（ ） 4) 機器 ・制御装置 ・送信機 ・受信機 ・その他（ ） 5) 制御装置 ・壁掛型 ・卓上形 ・複合壁懸込 ・その他（ ） 6) 送信機 ・壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他（ ） 7) 受信機 ・スピーカ式 ・イヤホン式 ・その他（ ）</p> <p>(3) インターホン 1) 用途 ●内部受付用 ●外部受付用 ●夜間訪問用 ●身体障害者用 ●保守用 ・その他（ ） 2) 機能 ●音声通話 ●映像モニタ 3) 通話網 ●親子式 ・相互式 ・複合式 4) 通話方式 ●同時通話式 ・交互通話式 ・その他（ ） 5) 機器 ●親機 ●子機 ・その他（ ） 6) 親機 ●壁掛型 ・卓上形 ・複合壁懸込 ・その他（ ） ①形状 ②送受話器 ●電話機形 ・マイク形 ・その他（ ） 7) 子機 ●壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・その他（ ） ①形状 ●壁掛形 ・卓上形 ・埋込形 ・マイク形 ・その他（ ） ②送受話器 ●電話機形 ・マイク形 ・その他（ ）</p> <p>(4) トイレ等呼出装置 1) 用途 ・トイレ呼出 ・受付呼出 ・非常通報 ・その他（ ） 2) 機器 ・親機 ・呼出スイッチ ・警報装置 ・その他（ ） 3) 親機 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合壁懸込 ・その他（ ） 4) 呼出スイッチ ・押しボタン式 ・引紐式 ・その他（ ） 5) 警報装置 ・光 ・音声 ・ブザー ・ベル ・その他（ ）</p> <p>20. テレビ共同受信設備 (1) 受信放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・CATV ・その他（ ）</p> <p>(2) 機器 ・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・その他（ ）</p> <p>(3) アンテナ 1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ） 2) マスト ・地上波用（壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・衛星用（壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・その他（ ） 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備 (1) 対象戸数 （ ）戸</p> <p>(2) 機器 ・増幅器 ・混合器 ・分波器 ・分岐器 ・分配器 ・機器収容箱 ・アンテナ ・ヘッドエンド装置 ・その他（ ）</p> <p>(3) アンテナ 1) 放送 ・UHF ・BS ・CS ・FM ・その他（ ） 2) マスト ・地上波用（壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・衛星用（壁面取付 ・自立 ・既設利用 ・その他（ ）） ・その他（ ） 3) 自立用基礎 ・本工事 ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）</p> <p>22. 監視カメラ設備 (1) 機器 ・カメラ ・モニタ装置 ・録画装置 ・ハウジング ・旋回装置 ・その他（ ）</p> <p>(2) 伝送方式 ・アナログ伝送方式 ・ネットワーク伝送方式 ・その他（ ）</p> <p>(3) カメラ 1) 色方式 ・白黒 ・カラー 2) 駆動方式 ・固定式 ・遠隔可動式 3) 撮影条件 ・昼間 ・薄明時 ・夜間 4) 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ）</p> <p>(4) モニタ装置 1) 色方式 ・白黒 ・カラー 2) モニタ ・液晶 ・P-C ・その他（ ） 3) 設置 ・自立型 ・卓上型 ・壁掛型 ・その他（ ）</p> <p>(5) 録画装置 1) 記憶媒体 デジタル記憶媒体とする。 2) 記憶容量 （ ） 3) 時刻補正機能 ・FM放送受信（アンテナ設置 ・既設利用） ・長波標準電波受信（アンテナ設置 ・既設利用） ・その他（ ）</p>	<p>23. 駐車場管制設備 (1) 機器 ・管制器 ・検知器 ・信号機 ・警報機 ・発券機 ・カーゲート ・カードリーダ ・その他（ ）</p> <p>(2) 管制器 1) 機能 ・入場管理 ・退場管理 ・発券管理 ・その他（ ） 2) 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・その他（ ）</p> <p>(3) 検知器 1) 方式 ・赤外線式 ・超音波センサ式 ・ループコイル式 ・その他（ ） 2) 検知器外箱 ・ステンレス製 3) 検出対象車両 四輪駆動自動車以上 4) 検出対象速度 ・2~40km/h ・その他（ ）</p> <p>(4) 番号灯・警報機 1) 方式 ・発光ダイオード式 ・その他（ ） 2) 警報音 ・ブザー ・その他（ ） 3) 外箱 ・ステンレス製 ・鋼製</p> <p>(5) 発券機 1) 発行券 ・磁気式 ・ICカード式 ・その他（ ） 2) 発券方式 ・入場時発行 ・事前発行 ・その他（ ）</p> <p>(6) カーゲート ・バー式（グラスファイバー製 ・アルミ製 ・鋼製（防錆処理）） ・その他（ ）</p> <p>24. 防犯・入室管理設備 (1) 設備 ・防犯装置 ・入室管理装置</p> <p>(2) 防犯装置 1) 機器 ・センサ ・制御装置 ・その他（ ） 2) センサ ・パッシブセンサ ・赤外線センサ ・画像センサ ・マグネットセンサ 3) 制御装置 ① 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合壁懸込 ・その他（ ） ② 時刻補正機能 ・FM放送受信（アンテナ設置 ・既設利用） ・長波標準電波受信（アンテナ設置 ・既設利用） ・その他（ ） ③ 基本機能 ・施錠制御 ・許可・不許可設定 ・設定データバックアップ機能 ・こじ開け警報の抑制は必須とする。 ④ 特記機能 ・遠隔監視制御 ・スケジュール設定制御 ・記録機能 ・照明制御機能 ・防災防犯インテグレーション機能 ・その他（ ）</p> <p>(3) 入室管理装置 1) 機器 ・制御装置 ・認識部 ・電気錠（本工事（建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用） ・セキュリティゲート ・その他（ ） 2) 制御装置 ① 形式 ・自立型 ・壁掛型 ・卓上型 ・複合壁懸込 ・その他（ ） ② 時刻補正機能 ・FM放送受信（アンテナ設置 ・既設利用） ・長波標準電波受信（アンテナ設置 ・既設利用） ・その他（ ） ③ 基本機能 ・施錠制御 ・許可・不許可設定 ・設定データバックアップ機能 ・こじ開け警報の抑制は必須とする。 ④ 特記機能 ・遠隔監視制御 ・スケジュール設定制御 ・記録機能 ・照明制御機能 ・防災防犯インテグレーション機能 ・その他（ ）</p> <p>(4) セキュリティゲート 仕様詳細は別図による。</p> <p>25. 自動火災報知設備 (1) 機器 ・受信機 ・副受信機（表示装置） ・中継器 ・発信機 ●感知器 ・その他（ ）</p> <p>(2) 受信機 1) 型式 ・P型1級 ・P型2級 ・R型 2) 回路数 （ ）回路 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 設置場所 ・複合壁懸込 ・自立形 ・壁掛型 ・その他（ ）</p> <p>(3) 副受信機（表示装置） 1) 設置場所 ・自立型 ・壁掛型 ・その他（ ） 2) 回路数 （ ）回路 3) 表示装置の仕様詳細は別図による。</p> <p>(4) 中継器 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 P型2級</p> <p>(5) 発信機 1) 型式 ・アドレス付 ・P型1級 ・P型2級 2) 消火栓ポンプ起動 特記なき場合は、発信機連動方式とし、発信機表面に「消火栓起動」等の文字を 記す。 3) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス（別途）に組込 ・その他（ ）</p> <p>(6) 感知器 1) 型式 ・アドレス付 ●一般型 2) 種類 ●熱感知器 ・煙感知器 ・炎感知器 3) 試験機能 ●自動試験機能 ・遠隔試験機能 ●屋内 ●一般 ●防水平 ・防爆 ・防食 ・その他（ ） 4) 設置場所 ●屋内 ●一般 ●防水平 ・防爆 ・防食 ・その他（ ） ●屋外 ・防水 ・その他（ ）</p> <p>26. 自動閉鎖設備 (1) 機器 ・運動制御器 ・感知器 ・自動閉鎖装置 ・自動開錠装置 ・その他（ ）</p> <p>(2) 運動制御器 1) 制御対象 ・防火戸 ・防火シャッター ・防排烟ダンパー ・非常口等の扉 ・その他（ ） 2) 回路数 （ ）回路（遠方復帰機構（ ）回路） 3) 設置 ・単独 ・壁掛形 ・自立形 ・火災受信機などの複合壁</p> <p>(3) 感知器 1) 型式 ・アドレス付 ・一般型 2) 種類 ・煙感知器（2種・3種） 3) 試験機能 ・自動試験機能 ・遠隔試験機能 4) 設置場所 ・屋内（一般 ・防水 ・防爆 ・防食 ・その他（ ）） ・屋外（防水 ・その他（ ））</p> <p>(4) 自動閉鎖装置 1) 方式 ・電磁式 ・ラッチ式 ・その他（ ） 2) 施工 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）</p> <p>(5) 自動開錠装置 1) 方式 ・電気錠 ・その他（ ） 2) 施工 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ）</p> <p>27. 非常警報設備 (1) 設備 ・非常放送装置 ・非常ベル</p> <p>(2) 非常放送装置 1) 消防法基準適合マーク品とする。 2) 機器 ・増幅器 ・スピーカ ・非常用リモコンマイク ・その他（ ） 3) 増幅器 ① 出力（ ）W ② 出力インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③ 形式 ・ロングラック型 ・スタンダードラック型 ・壁掛型 ・その他（ ） ④ 機能 ・マイク放送 ・自動火災報知設備連動放送 ・緊急地震速報設備連動放送 ⑤ 用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用</p> <p>(3) 非常用リモコンマイク 1) 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他（ ）</p> <p>(4) スピーカ ① 結線 ・1W ・3W（ ）W ② インピーダンス ・Lo形 ・Hi形 ③ 設置場所 ・屋内 ・屋外 ・その他（ ） ④ 用途 ・拡声設備兼用 ・非常放送専用</p> <p>(5) 非常用リモコンマイク 型式 ・壁掛形 ・ラック収納形 ・卓上形 ・その他（ ）</p> <p>(3) 非常ベル（自動式サイレンを含む） 1) 機器 ・起動装置 ・非常ベル ・表示灯 ・その他（ ） 2) 設置 ・単独設置 ・機器収容箱に組込 ・消火栓ボックス（別途）に組込 ・その他（ ）</p>	<p>【中央監視制御設備】 29. 中央監視制御設備 (1) 監視制御対象設備 ・動力設備 ・受変電設備 ・発電設備 ・火災報知設備 ・その他（ ）</p> <p>(2) 既設との取り合い ・無し ・盤改造 ・配線接続 ・その他（ ）</p> <p>(3) 機器 ・監視操作装置 ・信号処理装置 ・記録装置 ・伝送装置 ・端末装置 ・その他（ ）</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(4) 機能 1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他（ ） 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他（ ） 3) 操作装置 ・タッチパネル ・キーボード ・マウス ・その他（ ）</p> <p>(5) 監視操作装置 1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他（ ） 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他（ ） 3) 装置 ・プリンタ ・記録メディア（ ） ・その他（ ）</p> <p>(6) 信号処理装置 1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他（ ） 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他（ ） 3) 装置 ・プリンタ ・記録メディア（ ） ・その他（ ）</p> <p>(7) 記録装置 1) 形式 ・壁掛型 ・自立型 ・卓型 ・ラック型 ・卓上型 ・その他（ ） 2) 設置 ・単独 ・監視操作装置に組込 ・その他（ ） 3) 装置 ・プリンタ ・記録メディア（ ） ・その他（ ）</p> <p>【医療関係設備】 30. 非接地電源用分電盤 (1) 機器 ・絶縁変圧器 ・絶縁監視装置 ・電流監視装置 ・医用接地センサボディ ・その他（ ）</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(2) 仕様詳細 仕様詳細は別図による。</p> <p>31. ナースコール設備 (1) 形式 ・基本形ナースコール装置 ・携帯形ナースコール装置 ・情報表示形ナースコール装置 ・病床ユニット 仕様詳細は別図による。</p> <p>(2) 仕様詳細 仕様詳細は別図による。</p> <p>【構内配電線路】 32. 構内配電線路 (1) 配線方式 ・地中埋式（直埋 ・管路） ・架空埋式（直接 ・ちよう架線添架） ・建築物等添架式（露出配管 ・隠蔽配管 ・その他（ ）） ・その他（ ）</p> <p>(2) 建柱 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・その他（ ） 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンザマスト ・その他（ ） 3) 支持材 ・根かせ ・根はさま ・根巻き ・底板 ・支線（保護ガード ・有 ・無） 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無</p> <p>(3) 装柱機器（高圧用） 1) 機器 ・開閉器 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他（ ） 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用 3) 開閉器 仕様は 5. 受変電設備 (6) 負荷開閉器 による。</p> <p>(4) 装柱機器（低圧用） 1) 機器 ・開閉器 ・開閉箱 ・避雷器 ・カットアウト ・碍子 ・その他（ ） 2) 耐環境性 ・一般用 ・耐塩用</p> <p>(5) ハンドホール・マンホール 1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・（ ）箇所</p> <p>(6) 鋪設蓋 1) 鋪設蓋の刻印は「送電」「電力」又は「高圧」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水ハッケン付とする。</p> <p>(7) 地中ケーブル保護材料 1) 種類 ・FEP ・GLT（PEラインング管） ・VE ・HIVE ・SGP ・その他（ ） 2) 標示柱埋設 ・コンクリート製 ・鉄製（アスファルト部分） 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他（ ） 4) 埋設標識シートの表記は電力用であることがわかるものとする。</p> <p>【構内通信線路】 33. 構内通信線路 (1) 用途 ・電話用 ・拡声用 ・時刻表示用 ・火災報知用 ・非常警報用 ・インターホン用 ・テレビ共同受信用 ・防犯用 ・制御用 ・その他（ ）</p> <p>(2) 配線方式 ・地中埋式（直埋 ・管路） ・架空埋式（直接 ・ちよう架線添架） ・建築物等添架式（露出配管 ・隠蔽配管 ・その他（ ）） ・その他（ ）</p> <p>(3) 建柱 1) 施工 ・本工事 ・既設柱利用 ・構内配電線柱に添架 ・その他（ ） 2) 電柱 ・コンクリート柱 ・鋼管柱 ・ハンザマスト ・その他（ ） 3) 支持材 ・根かせ ・根はさま ・根巻き ・底板 ・支線（保護ガード ・有 ・無） 4) 装柱材料 ・有 ・無 5) 銘板 ・有 ・無</p> <p>(4) ハンドホール・マンホール 1) 形式 ・ブロック式 ・現場打ち 2) 施工 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事） ・別途工事 ・既設利用 ・その他（ ） 3) ケーブル支持金物の取付 ・2箇所 ・4箇所 ・（ ）箇所</p> <p>(5) 鋪設蓋 1) 鋪設蓋の刻印は「弱電」又は「通信」とする。 2) 雨水の流れ込みを防ぐため防水ハッケン付とする。</p> <p>(6) 地中ケーブル保護材料 1) 種類 ・FEP ・GLT（PEラインング管） ・VE ・HIVE ・SGP ・その他（ ） 2) 標示柱埋設 ・コンクリート製 ・鉄製（アスファルト部分） 3) 埋設標識シート ・2倍長 ・その他（ ） 4) 埋設標識シートの表記は弱電用であることがわかるものとする。</p> <p>【その他】 34. 消火器 1) 設置 ・本工事（建築工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事） ・別途工事 2) 消火器 種類（ ）本 3) 消火器収納箱 材質（ ）面</p>	<p>III. 機器標準取付高さ 標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(○印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>名称</th> <th>側点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備</th> <th>考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床下~下端</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取用計器</td> <td>地上~窓中心</td> <td>1,800~2,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>引込閉器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,800~2,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> <td>○1,000mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント（一般）</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> <td>○400mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント（和室）</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント（台）</td> <td>床下~中心</td> <td>150</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント（WP）</td> <td>床下~中心</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント（地下）</td> <td>床下~中心</td> <td>1,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント（土間）</td> <td>床下~中心</td> <td>500</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット（一般）</td> <td>床下~中心</td> <td>2,100~2,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット（鏡上）</td> <td>鏡上端~中心</td> <td>150</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット（処理場）</td> <td>床下~中心</td> <td>2,500</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手元開閉器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作スイッチ</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>端子盤</td> <td>床下~下端</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保安器盤</td> <td>床下~中心</td> <td>2,000</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス（和室）</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>時計・拡声</td> <td>壁掛型観時計</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> <td>2,500mm</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アッテネータ</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示</td> <td>表示器</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>インターホン</td> <td>壁付インターホン</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス（和室）</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>子機（身障者用）</td> <td>床下~中心</td> <td>1,100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>呼出しボタン（身障者用）</td> <td>床下~中心</td> <td>800~950</td> <td>便座先端から後方へ100~200mm 2箇所（高700mm、便座先端から前方400mm）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯（身障者用）</td> <td>床下~中心</td> <td>1,800</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>テレビ</td> <td>機器収容箱</td> <td>床下~中心</td> <td>2,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床下~中心</td> <td>300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット（和室）</td> <td>床下~中心</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>火災報知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床下~中心</td> <td>1,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発信器</td> <td>床下~中心</td> <td>1,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床下~中心</td> <td>1,800</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ベル</td> <td>床下~中心</td> <td>2,300</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針（最終改正平成21年国交省告示第906号） ユニバーサルデザインのまちづくり推進条令 整備基準の解説等（平成25年4月三重県）</p>	機器	名称	側点	取付高さ (mm)	備	考	電力	接地端子盤	床下~下端				取用計器	地上~窓中心	1,800~2,000				引込閉器	床下~中心	1,800~2,000				分電盤	床下~中心	1,500	上端1,900mm			スイッチ	床下~中心	1,300	○1,000mm			コンセント（一般）	床下~中心	300	○400mm			コンセント（和室）	床下~中心	200				コンセント（台）	床下~中心	150				コンセント（WP）	床下~中心	1,000				コンセント（地下）	床下~中心	1,000				コンセント（土間）	床下~中心	500				ブラケット（一般）	床下~中心	2,100~2,300				ブラケット（鏡上）	鏡上端~中心	150				ブラケット（処理場）	床下~中心	2,500				動力	壁掛型制御盤	床下~中心	1,500	上端1,900mm		手元開閉器	床下~中心	1,500				操作スイッチ	床下~中心	1,300				電話	端子盤	床下~下端	300			保安器盤	床下~中心	2,000				壁位置ボックス	床下~中心	300				壁位置ボックス（和室）	床下~中心	200				時計・拡声	壁掛型観時計	床下~中心	1,500	上端1,900mm		子時計	床下~中心	2,300				壁掛型スピーカ	床下~中心	2,300	2,500mm			アッテネータ	床下~中心	1,300				表示	表示器	床下~中心	2,300			壁付発信器	床下~中心	1,300				ベル・ブザー・チャイム	床下~中心	2,300				インターホン	壁付インターホン	床下~中心	1,300			壁位置ボックス	床下~中心	300				壁位置ボックス（和室）	床下~中心	200				子機（身障者用）	床下~中心	1,100				呼出しボタン（身障者用）	床下~中心	800~950	便座先端から後方へ100~200mm 2箇所（高700mm、便座先端から前方400mm）			表示灯（身障者用）	床下~中心	1,800				テレビ	機器収容箱	床下~中心	2,000			直列ユニット	床下~中心	300				直列ユニット（和室）	床下~中心	200				火災報知	受信機・副受信機	床下~中心	1,500			発信器	床下~中心	1,300				表示灯	床下~中心	1,800				ベル	床下~中心	2,300			
機器	名称	側点	取付高さ (mm)	備	考																																																																																																																																																																																																																																																										
電力	接地端子盤	床下~下端																																																																																																																																																																																																																																																													
取用計器	地上~窓中心	1,800~2,000																																																																																																																																																																																																																																																													
引込閉器	床下~中心	1,800~2,000																																																																																																																																																																																																																																																													
分電盤	床下~中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																																																																																												
スイッチ	床下~中心	1,300	○1,000mm																																																																																																																																																																																																																																																												
コンセント（一般）	床下~中心	300	○400mm																																																																																																																																																																																																																																																												
コンセント（和室）	床下~中心	200																																																																																																																																																																																																																																																													
コンセント（台）	床下~中心	150																																																																																																																																																																																																																																																													
コンセント（WP）	床下~中心	1,000																																																																																																																																																																																																																																																													
コンセント（地下）	床下~中心	1,000																																																																																																																																																																																																																																																													
コンセント（土間）	床下~中心	500																																																																																																																																																																																																																																																													
ブラケット（一般）	床下~中心	2,100~2,300																																																																																																																																																																																																																																																													
ブラケット（鏡上）	鏡上端~中心	150																																																																																																																																																																																																																																																													
ブラケット（処理場）	床下~中心	2,500																																																																																																																																																																																																																																																													
動力	壁掛型制御盤	床下~中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																																																																																											
手元開閉器	床下~中心	1,500																																																																																																																																																																																																																																																													
操作スイッチ	床下~中心	1,300																																																																																																																																																																																																																																																													
電話	端子盤	床下~下端	300																																																																																																																																																																																																																																																												
保安器盤	床下~中心	2,000																																																																																																																																																																																																																																																													
壁位置ボックス	床下~中心	300																																																																																																																																																																																																																																																													
壁位置ボックス（和室）	床下~中心	200																																																																																																																																																																																																																																																													
時計・拡声	壁掛型観時計	床下~中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																																																																																																											
子時計	床下~中心	2,300																																																																																																																																																																																																																																																													
壁掛型スピーカ	床下~中心	2,300	2,500mm																																																																																																																																																																																																																																																												
アッテネータ	床下~中心	1,300																																																																																																																																																																																																																																																													
表示	表示器	床下~中心	2,300																																																																																																																																																																																																																																																												
壁付発信器	床下~中心	1,300																																																																																																																																																																																																																																																													
ベル・ブザー・チャイム	床下~中心	2,300																																																																																																																																																																																																																																																													
インターホン	壁付インターホン	床下~中心	1,300																																																																																																																																																																																																																																																												
壁位置ボックス	床下~中心	300																																																																																																																																																																																																																																																													
壁位置ボックス（和室）	床下~中心	200																																																																																																																																																																																																																																																													
子機（身障者用）	床下~中心	1,100																																																																																																																																																																																																																																																													
呼出しボタン（身障者用）	床下~中心	800~950	便座先端から後方へ100~200mm 2箇所（高700mm、便座先端から前方400mm）																																																																																																																																																																																																																																																												
表示灯（身障者用）	床下~中心	1,800																																																																																																																																																																																																																																																													
テレビ	機器収容箱	床下~中心	2,000																																																																																																																																																																																																																																																												
直列ユニット	床下~中心	300																																																																																																																																																																																																																																																													
直列ユニット（和室）	床下~中心	200																																																																																																																																																																																																																																																													
火災報知	受信機・副受信機	床下~中心	1,500																																																																																																																																																																																																																																																												
発信器	床下~中心	1,300																																																																																																																																																																																																																																																													
表示灯	床下~中心	1,800																																																																																																																																																																																																																																																													
ベル	床下~中心	2,300																																																																																																																																																																																																																																																													

<p>一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-2026号 一級建築士 大臣登録 第327163号 萩原 正洋</p>	<p>訂正</p>	<p>特記</p>	<p>工事名称 津市立片田小学校給食受入施設改修工事</p>	<p>図面内容 電気設備工事特記仕様書 3</p> <p>図面番号 E-03</p>
--	-----------	-----------	------------------------------------	--





**注記**

1. 図中記入なきは下記とする。

× 機器撤去を示す

—X— 配管、配線撤去を示す

配管配線は、可能な限り撤去すること

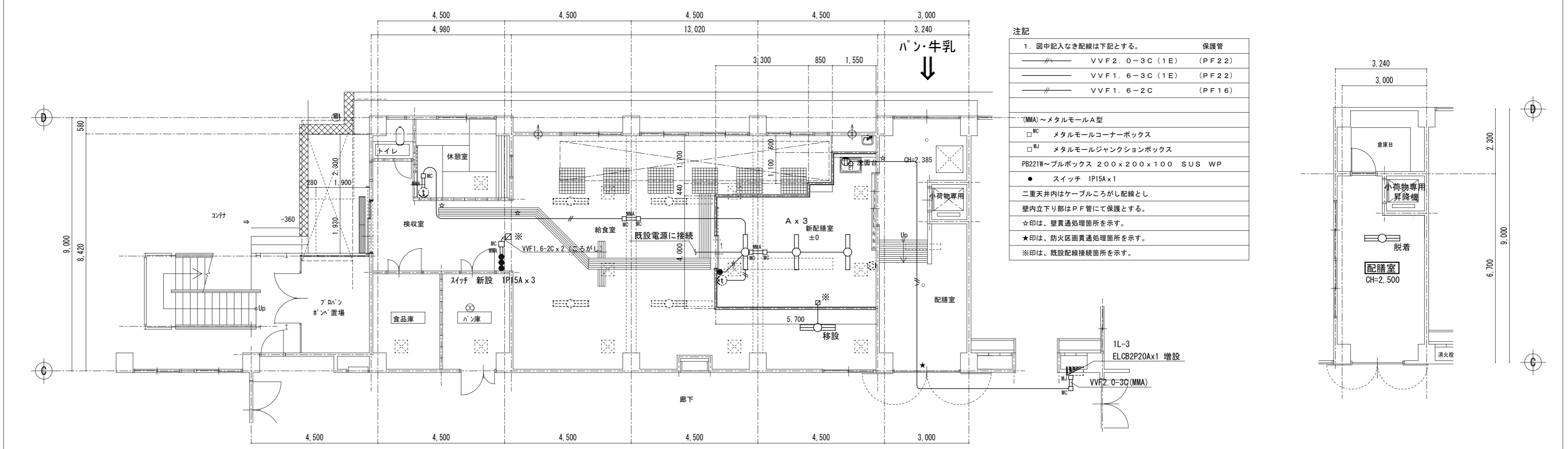
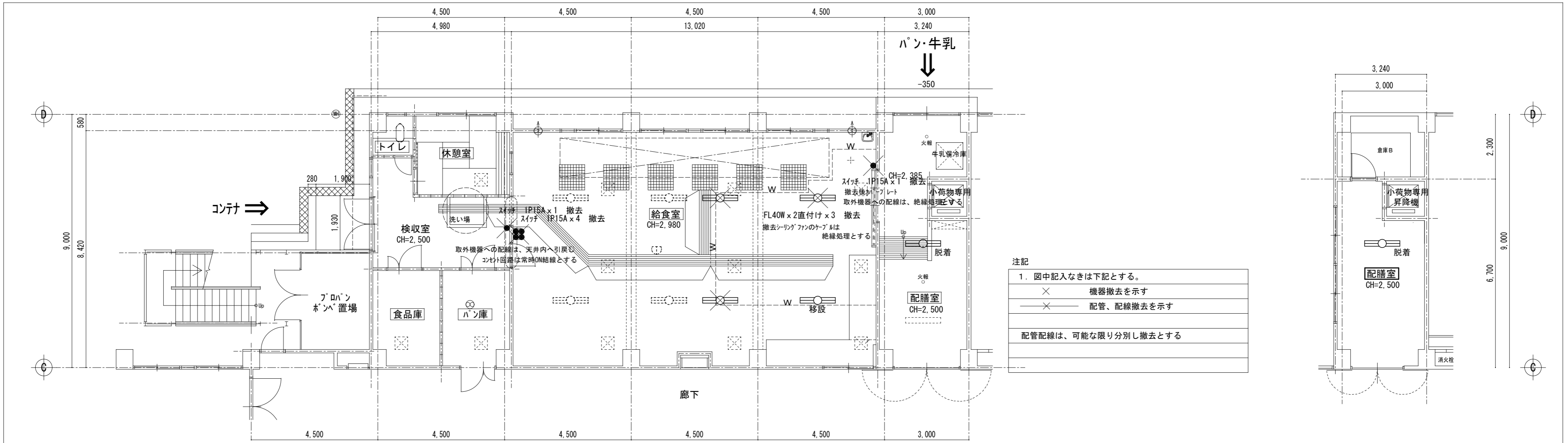
**注記**

1. 図中記入なき配線は下記とする。

—AE	AE1.2-2C	(PF16)
—AE	AE1.2-4C	(PF16)
—AE4	AE1.2-2C x 2	(PF16)
—VVF1.6	VVF1.6-2C	(PF16)
—CV3	CV3.5-4C (H122)	

(MMA) ~ マタルモールA型  
 MC ~ マタルモールコーナーボックス  
 MJ ~ マタルモールジャンクションボックス  
 PB221W ~ プルボックス 200 x 200 x 100 SUS WP

二重天井内はケーブルこしがし配線とし、壁内立下り部はP.F管にて保護とする。  
 ☆印は、壁貫通処理箇所を示す。  
 ★印は、防火区画貫通処理箇所を示す。  
 ※印は、既設配線接続箇所を示す。





※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m 以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m 以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鉄鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鉄鉄管			
ビニル管			
耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は  
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。  
形鋼止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGOCCA) 鍍金付着Z18以上
  - ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- アングルフランジ工法
  - 共板フランジ工法
  - スライドオンフランジ工法
- 形鋼補強
- 山形鋼 JIS G 3101  SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- スパイラルダクト
  - 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)		保温板 JIS A 9504 2号 40K
■ 給水管		■ 排水管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 消火管

□ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)		保温板、保温帯、ブランケット 1号JIS A 9504
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管

□ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)		保温筒 JIS A 9511 3号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管
<input type="checkbox"/> プライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管

□ 調合ベイント塗り塗料 (露出)		JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 通気管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管

2) 保温厚

・ グラスウール、ロックウール

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-
蒸気管	~25A	-	~25A	32~200A	250A~
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	~25A	32~200A	250A~

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
プライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	25mm	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー 排気筒隠蔽部 (ロックウール)	
75mm	煙道 (ロックウール)	

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様

	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	7637 5767 5771 5772 5773
天井内・P S内	7637 5767 5771 5772 5773	アルミガラスクロス粘着テープ		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7637 5771 5772 5773
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。  
※ 2) サヤ管工法; 架構ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。  
※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	7637 5767 5771 5772 5773	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	7637 5767 5771 5772 5773	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	7637 5767 5771 5772 5773	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	7637 5767 5771 5772 5773	着色アルミガラスクロス仕上	
屋外露出	保温筒	鉄線	7637 5767 5771 5772 5773	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別  
■ 保温化粧ケース仕上 ■ ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー鉄板 (屋内)
温水・膨張・温水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線		SUS鋼板仕上
温水・蒸気ヘッダ					カラー鉄板 (屋内)
熱交換器					

※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー鉄板
	機械室				アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D S内				アルミガラスクロス化粧保温板
	屋外露出、多湿箇所				アルミガラスクロス粘着テープ
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー鉄板
	機械室				アルミガラスクロス化粧保温帯
	屋内隠蔽、多湿箇所				アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所				アルミガラスクロス粘着テープ
サブライチャンパー	屋内露出		保温板	ガラスクロス	鋼亀甲金網
消音チャンパー、エルボ	屋内露出		保温板	ガラスクロス	鋼亀甲金網
排煙ダクト長方形	屋内隠蔽				アルミガラスクロス粘着テープ
排煙ダクト 円形	屋内隠蔽				アルミガラスクロス粘着テープ
煙道	ブランケット	鉄線			カラー鉄板

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。  
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による重鉛鍍金を施した網目16線径0.55 による防錆処理を施した平ラス0号で外面補強したものを使用。  
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	調合ベイント	1	1	1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	調合ベイント	2	1	1	下塗りはさび止めベイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

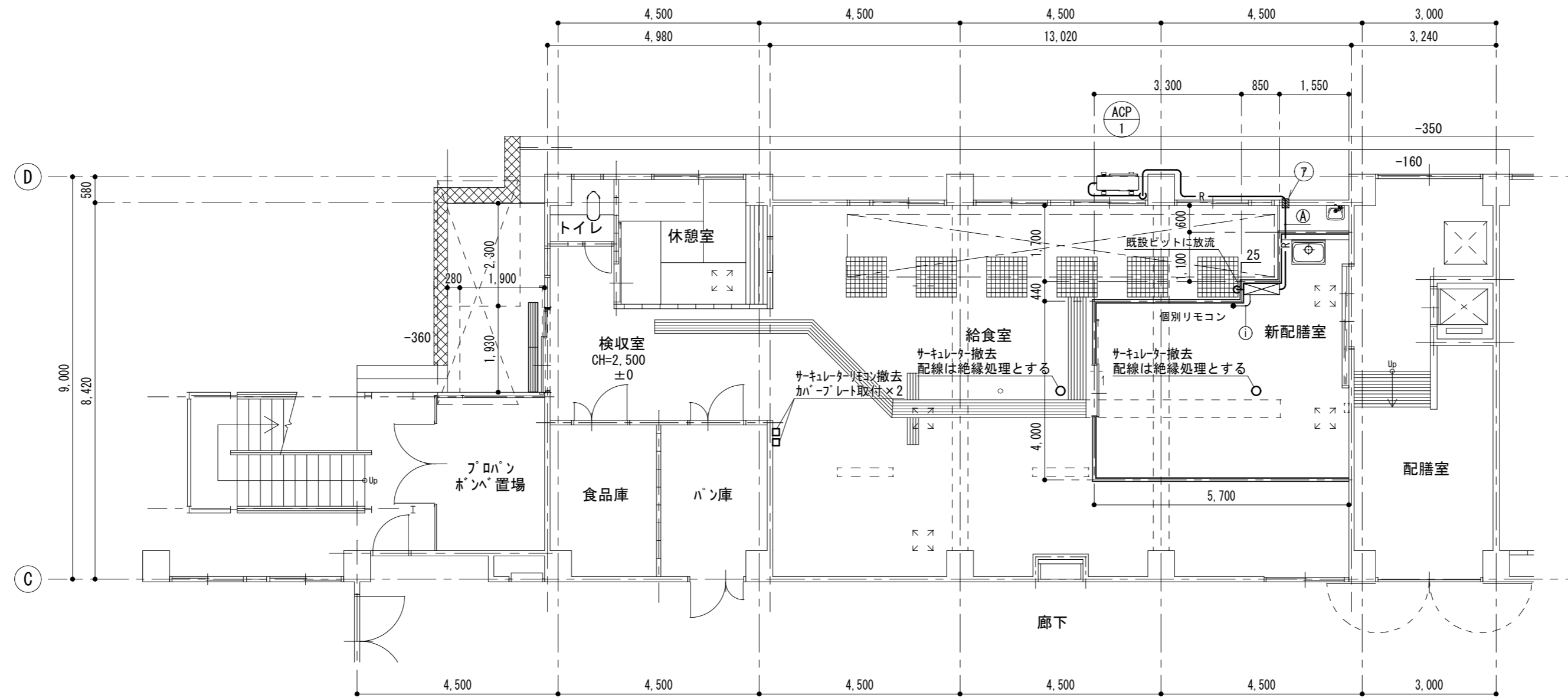
- ダクト保温施工範囲
- SA
    - 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
  - EA
    - 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
  - RA
    - 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
  - OA
    - 保温あり  保温なし  図面による  その他 ( )
- チャンパー内貼施工
- 内貼あり ( mm )  内貼なし  図面による  その他 ( )

(4) スリーブ工事

- 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚を含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。  
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
- 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
- その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 配管途中、妻所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。書きもしくはカッティングシートとする。
- 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 雨がかり部に取り付けのガリリチャンパーには、水抜きを設けること。
- 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
  - ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
  - ・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
  - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
  - ・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 屋外設置のマニホール類には用途名を入れること。
- 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊産の取り付けを行うこと。
- 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 建設発生土は土壌自由処分とすること。



1階平面図 (改修後) S=1/100

記号	冷媒配管サイズ		室内外連絡線
	液管	ガス管	
Ⓐ	φ 6.4	φ 12.7	VVF2.0-3C

①	リモコン線	CVVS1.25-2C
---	-------	-------------

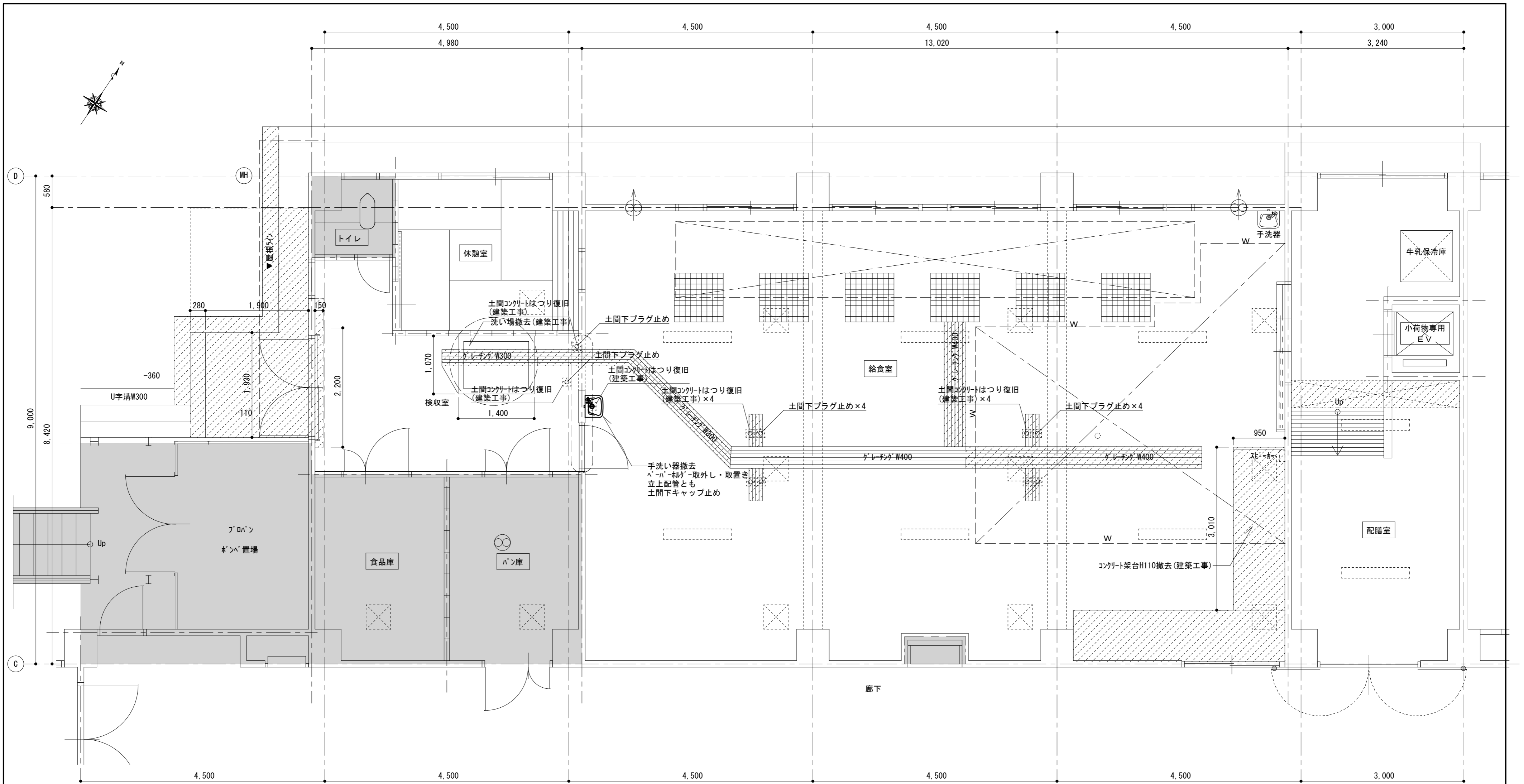
図中記号凡例			
Ⓐ	⑦	RC壁コア抜き補修	φ 100
Ⓐ	④	RC壁コア抜き補修	φ 75
Ⓐ	④	RC床コア抜き補修	φ 75

空調機器表 (新設)					
記号	形式・名称	仕様		台数	備考・参考型番
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力 : 5.0 (2.3~5.6) Kw	暖房能力 : 5.6 (2.6~7.1) Kw	1	防振ゴム ワイヤードリモコン
	壁掛型	3相200v	冷房定格消費電力 : 1.31kW		室外機防護ネット
			暖房定格消費電力 : 1.52kW		既製コンクリート基礎
<p>特記事項 : 運転特性、能力はJIS条件による。電気容量値は参考とする。空調機は省エネタイプ仕様とすること。</p> <p>空調機トップランナー基準改定仕様とする。冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。</p> <p>リモコン配線共本工事とする。室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。</p> <p>アンカーはケミカルアンカー仕様。機器は同等品以上とする。室外機は防振ゴムシートを敷くこと。パッケージエアコン室外機には防護ネットを施すこと。</p> <p>機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。</p>					

凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	防露塗装仕様
— R —	冷媒管	空調用保温付被覆銅管	屋内露出 : 配管化粧カバー 屋外露出 : ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
— D —	ドレン管	保温付VP ※屋外は加-VPとする	

原図 : A 2



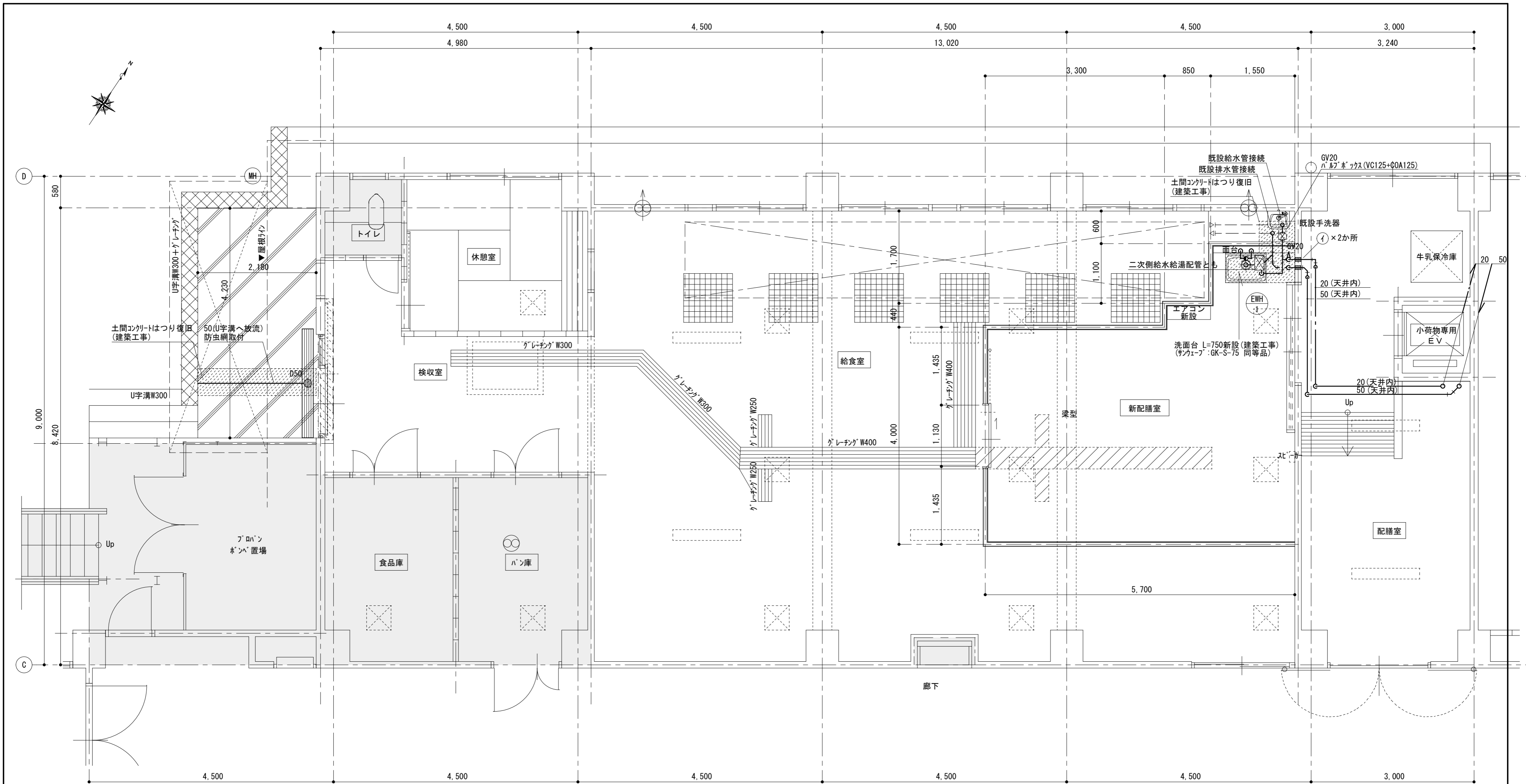


1階平面詳細図 (改修前) S=1/50

--- W --- 新設間仕切壁54mm

図中記号凡例		
⑦	RC壁コア抜き補修	φ100
①	RC壁コア抜き補修	φ75
②	RC床コア抜き補修	φ75

原図：A 2

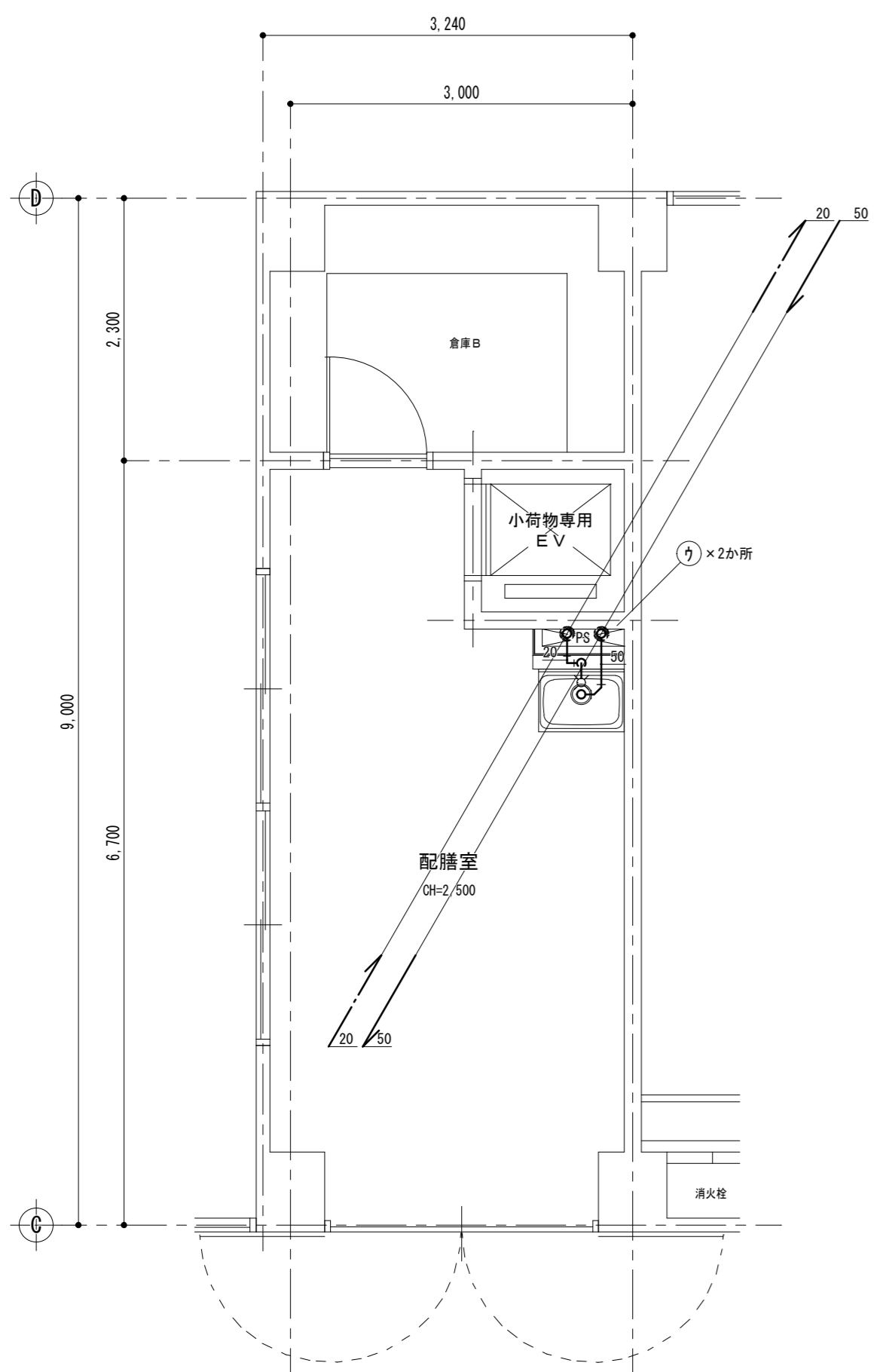


1階平面詳細図 (改修後) S=1/50

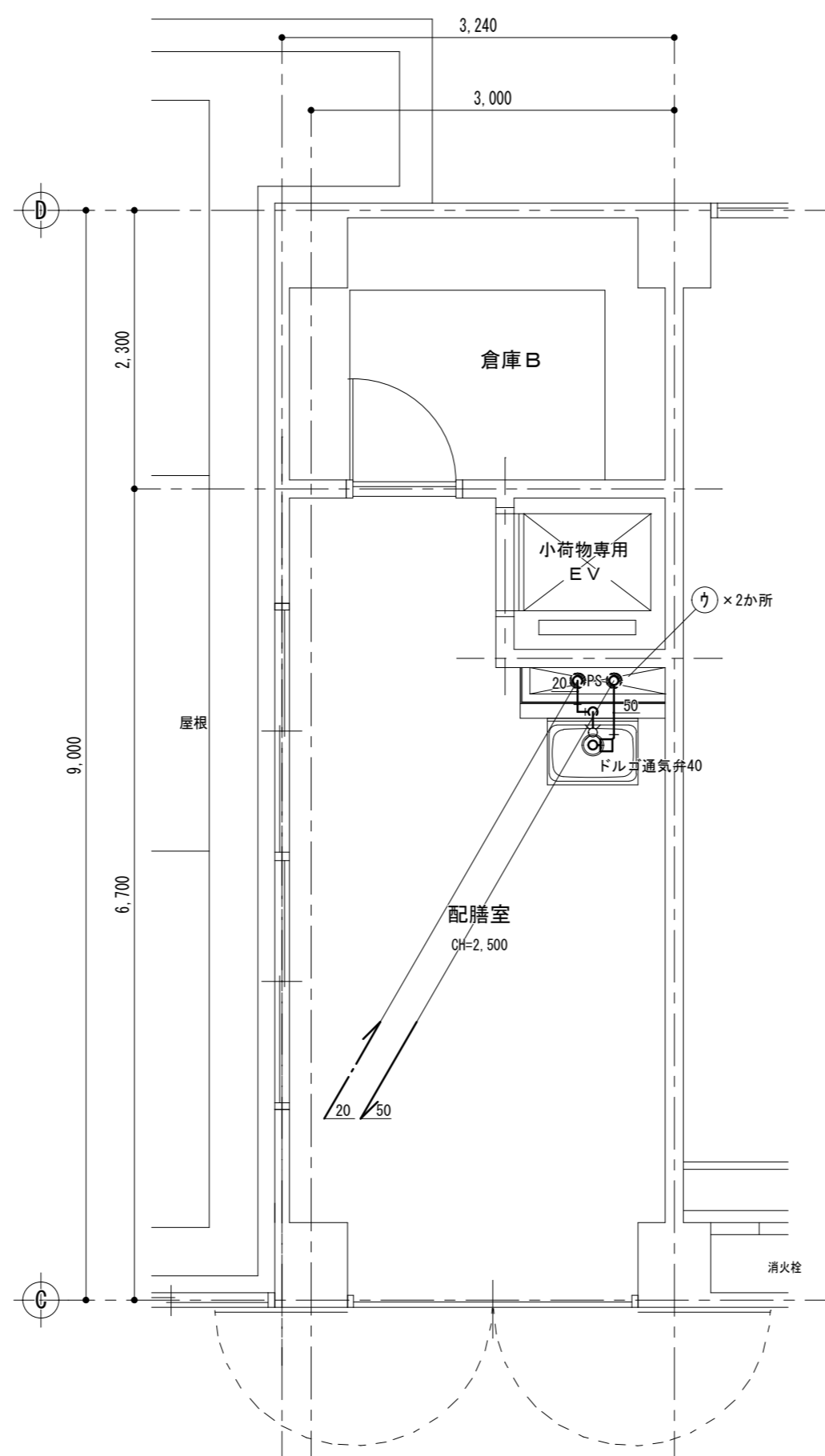
図中記号凡例		
⊙	⑦	RC壁コア抜き補修 φ100
⊙	①	RC壁コア抜き補修 φ75
⊙	②	RC床コア抜き補修 φ75

原図：A 2

⊗	⑦	RC壁コア抜き補修	φ100
⊗	①	RC壁コア抜き補修	φ75
⊗	②	RC床コア抜き補修	φ75



2階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50



3階配膳室平面詳細図 (改修後) S=1/50

名称	仕様	設置場所			合計
		1階 新配膳室	2階 配膳室	3階 配膳室	
混合水栓	TKGG30E 壁付シングルレバー	1			1
自在水栓	T130ARQ13C レバーハンドル (170mm)		1	1	2
流し台 (建築工事)	SUS製 750W 排水トラップ共	(1)	(1)	(1)	(3)

記号	名称	機器仕様	台数	備考・参考型番
EWH-1	電気温水器	貯湯量 12L 電 源 AC100V 消費電力 1.1kW	1	REKB12A12
	(飲料・洗い物用タイプ)	その他 ウィーラータイマー 自動給排水 開放式排水ホッパー アングル止水栓		

原図: A 2